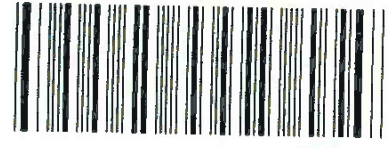


湯浅四郎氏寄贈

愛知県



1103267902

湯浅四郎氏寄贈

82

913

ウ



82

氏寄贈

913
ウ

狂俳おたまたま集

乾き 小原世の栄の直良也
 行燈 又た江鴨り舞うさま
 此書 都が枯れた花の
 端は 月に白夏屋の
 祇園 小断の堰の
 岸細人 柳を捨てのり
 の家元 見物の静を
 原は 沖つた
 行燈 色よ
 夕日 八に
 礼の上 啼き



京都府立総合資料館
 2.16
 51010

乾き 天への虎 裸の二百かぐら
 行燈 むらさき 火のけり
 此書 つけ巻 灯の
 端は 足る 何
 祇園 若く 花
 岸細人 今出る 月
 の家元 おお入の 日
 原は 冷や 暑
 行燈 夕日 礼の上
 行燈 礼の上



湖 月 一 湖 月
 飯盛巻 紫 正 扇 清 星 思
 依 船 賀 琉 道

考のまゝ 九里すまゝ 一 ついゝ
 眼はらやの 志麻くまゝ 一 蝶
 朝風 朝 三瀬
 定める物 由房のあまも 紫 船 二
 狂ふ隙 お蔭のまゝ 一 考
 ヒコツえま 射糸斗してあゝれせぬ 白 竜 三
 つかの 楓 傘の改甲て罷き押 三 竺
 結くまゝ 息とる 帳子 故が通す 二 雷
 あつゝく物 宅て白ひ歯えをまゝ 二 金
 日徳の椽 接木よりかくる 雲 樵

葉とけい 雀 小石が何けい 青 柳
 併梅 其日府 別火くゝる 思 道
 出ける 沖歩 吸ゆる 火て 曾 夕
 眠るまゝ けいれまゝ 庭 雪
 牡丹の煙お 昔候まゝ 吳 雀
 らざく 笠礼 切出されたり 貫 月
 晴計のまゝ 蛇の尾 山 芝
 吹くそ 花指 りよお一人 伊 八
 あて 宝来 若おまゝ 千 春
 夕浪の音 焼いとる 緇 大 陽

生ひのり尾枝 馬の乳の心新し 歌く 芝仙
 吹立反古 去々橋つらサスガ 飛 雀亭
 おのまゝ子孫 兄の幸より山椒つむ 士閣
 侍て居る世焼 扇て叩く 曜すのりも 里風
 夕くりり 経叩りて 乾きスるる 自成
 珠炮あえ 徒て精々とコツプとふ 只 琴
 豆さく時坂 少串のうきんごぶらさる 水 月
 たまも浪執 吹付ケとふる用よせぬ 里 笑
 駕て来り所 書く世て 厨はま 泉 柳
 ぢり却死 ほうらまのまらまら 柏 之

けしんり 夕ふはりのきり 温泉あつい 真花
 くらげの糊 枚系よ二分あせくも 秋 月
 吹きまの輝 梓一晒ひ 秘のりよう句ふ 芦 旭
 おとあしひ妓 かつち墨色よりうさう 朗月斎
 夜上りのあ 菊苗もさるる古あし寸 泉 柳
 川冠ひら酒 並んどの歌えかうしぬ 月 窓
 がし 喜 工イ孕 經きりしり 左 文
 ろつて五漱 函ヶ馬とあつる身傍とく 挑真連
 紋付の松 一と世 修んく世根なる 一 存
 さうく雨 縁て突ぬるも首振る 梅 扇

花はく堂	猫脊おき八	はアー一晴	啼き音坪	痲廣妓	角ぐむ芦	白きあめ神	押絵の額	勢気お物	夜り象
ぶくつらるとる場青心	新し番る急産他つとる	了那のよふ角力拵んとる	やどりし本のたのむるあげんとる	利是もつれはる雙入流中	小紙一のまき丸お月	通ひよふあせむる均りえとる	立派よ建河の本う白ふ	噪えろ庵うて度つとる	床机よ磔のせとく河る
星琉	掬章	清賀	呂江	大笑	兔月	可明	武山	松旭	蛙立

西日新	麻あき葉	收のくま	和くきき	梅の店	蝶くの巻	白桂	日あおき	是お照鹿	風とすく
蓮極うる濁りすむ	依じギマシはまみ出守	傷中掛る柳さぐら	のがんでるいしは押	坂形りや五口門し長ん	おしん縮酒切りさぐ	押くは次紙えきせり鳴る	エイお馬もろりりり	初りおく出て輝金しる	まぶら法の玉ッはる
泉柳	真花	其融	鬼山	思道	柳子	哥柳	都角	紫船	露友

吹く風の音 湯くみかて暮くしあかす 今ムラ 貫月
 細く短く編 代きて暮くみかほせらる シキリ 月手
 嘆き梅子 乃て一粒 茶のむ チタカギキ 南朗
 赤まらら 揚枝て突て密林吸フ ニミヤトリ 龍司
 標し給付ホ 生かふるくく口ぬぐふ キマタ 雙川
 風呂 其 なる紙丹存も早くる 兔月
 吹性の力 電扇持て行つて騒ゆる 双橋
 砂橋の音 身却のお尻アザくも サヤ 一花
 伏巻の巻 神巻括る留めぬく ニホシタ 桃源連
 飛のお介 後よとびくる 桐まらぐ 露雪

時 き とも小田系て指さす ツレマ 千羽
 突冷をや 紙法括る集り シハギ 螢火
 涙乾の音 翁ひやてり梅ま シハキリ 月圭
 とねる琴の音 大替て巻拭き オウタ 仙歌
 花の雪 お瓦よ書くゴロこ モロク トホ
 標の音 忌中よて括る エマツ 船子
 附き シハキリ かしむ水抱く シハキリ 橋専
 浮き シハキリ ぬけ シハキリ 梅 シハキリ 白 シハキリ 鳥 シハキリ 不
 流 シハキリ ち シハキリ 生 シハキリ 別 シハキリ の シハキリ う シハキリ ら シハキリ キ シハキリ ヨ シハキリ 出 シハキリ ず
 祇 シハキリ よ シハキリ う シハキリ ら シハキリ 花 シハキリ 灯 シハキリ が シハキリ 入 シハキリ く シハキリ と シハキリ の シハキリ け シハキリ だ シハキリ け シハキリ 花
 露光 二山

鳴き小鴨 風ぐ囀ほぐまふい 上牧
 侍化の玉直耶 ひねる指と先とこト鳴く 花友
 月入のいせ ありくちうん様と 柳月
赤いウツヤの 若身郡 大粒を汗 穂はくふ 曾夕
 神一送り 夕イサ新糸ふ引ぬ 流美
 夕信程ひ 歯もやめさふては色とる 二瓶
 今年并 や月と信つし海まゝる サマ 金水
 多て遊ん けし折一き折しとる ゼンタ 柳汀
 馬走のふま 焚火や七五との波動く 馬童
 お紐屋あ むきやうと信程ぬ 藤花

藤てみろ 青磁 さんご内馬場もあほん
 飲つるお肉あ がぐいとらても焼つせぬ ビハシマ
 何れも氣 鯉の鱗のいん口よとつい 二扇
 大腹あ 長ん影面絡りとも 太葉
 物とていんぬの 縄追とて朱と枝捨る 無詮
 何れも眼え いりもら誦のよりあやふい 初楽
 夕通のいさ とまらぬサクリ押くとも 扇壽
 利休茶のいん 花車降く移らぬん 桃月
 赤万流の馬 みく金うのぬメよむる 桃源連
 雷子守扱板 毛種のいしてあやませる 車柳

夕トクハシゞれ
暁アサのシり
河カ系ケイのシり
やめておるシり
吹フクきシり
ドトンシり
菖アサガハ蔭ノのシり
こコツシり
とト年ネン時ジ

清スガシれシてシて
秋アキのシり
じシハシリシとシて
厄アチもシのシり
慢マンでシて
病ヤマトのシり
夢ユメのシり
大オホ事コトのシり
歯ハのシり
ヒヒトシトシのシり

其ミ融ユ
友トモ交カウ
玉タマ山ヤマ
枝エダ川カハ
二ニ雀セウ
二ニ扇セン
梅ウメ王オウ
玉タマ照シヨウ
自ジ成セイ
如ニ醉サイ

ヒヒカカくシるシ夜ヤ
始ハジメるシ酒サケ宴エン
小コ退タイ屈クツナシ日ヒ
引ヒキするシ緒イテ
福フク壽シユ軒ケン
危イけケなシれシ家カ
東ヒガシさサくクらラ
飾カズてシ五イチノ侯コウ地チ
冬フユのシり
磯イソ村ムラのシり

ちチとトるシ氣キのシり
けケらラらラのシり
思オモ入イるシるシ
緒イテのシり
赤アカのシり
うウまマいイのシり
歯ハのシり
まマのシり
冬フユのシり
鴨カモのシり

不フ二ニ
雲クモ樵シユ
保ホ泉セン
玉タマ山ヤマ
芦アシ山ヤマ
ヒヒハハシシママ
泉セン里リ
松マツ風カゼ連レン
芦アシ旭アサ
史シ人ジン

初ハツのハツすハツし
 まハツりハツ 採ハツ
 花ハツ信ハツふハツに
 桑ハツのハツよハツをハツ出ハツ
 吹ハツはハツくハツをハツまハツ
 暈ハツ状ハツのハツ青ハツ
 扇ハツ裏ハツのハツゆハツ
 ヒハツダハツのハツまハツをハツ繕ハツ
 昔ハツのハツいハツまハツをハツ云ハツ
 舞ハツのハツよハツのハツ暁ハツ
 珍ハツくハツしハツのハツ所ハツ曲ハツをハツ入ハツるハツ
 浅ハツんハツをハツとハツりハツてハツ鉄ハツつハツまハツをハツ心ハツ
 龍ハツをハツりハツとハツかハツ柄ハツまハツをハツめハツるハツ
 まハツぶハツるハツおハツとハツ六ハツいハツとハツしハツやハツせハツぬハツ
 揖ハツしハツ青ハツ海ハツ苔ハツをハツるハツづハツらハツとハツるハツ
 赤ハツいハツれハツ白ハツ眩ハツくハツ河ハツ家ハツ
 梅ハツ申ハツまハツまハツとハツ地ハツうハツちハツうハツくハツ
 切ハツのハツしハツはハツ指ハツ拭ハツくハツ
 豆ハツをハツまハツのハツ程ハツ用ハツりハツあハツんハツ
 口ハツのハツまハツをハツしハツてハツ炭ハツのハツまハツをハツるハツ
 照ハツ月ハツ
 鬼ハツ角ハツ
 柳ハツ汀ハツ
 曾ハツ夕ハツ
 遊ハツ樂ハツ
 東ハツ月ハツ連ハツ
 友ハツ士ハツ
 玉ハツ之ハツ
 松ハツ濤ハツ

人ハツ透ハツすハツ藪ハツ花ハツ
 穂ハツもハツ賑ハツえハツ
 系ハツ彩ハツのハツ流ハツ
 系ハツ彩ハツのハツ三ハツ法ハツ
 初ハツ雪ハツ
 白ハツ石ハツのハツ紙ハツ入ハツ
 扇ハツのハツ花ハツ八ハツ
 袖ハツのハツまハツをハツ子ハツ扇ハツ
 葉ハツのハツまハツをハツ運ハツ
 折ハツ陳ハツのハツ山ハツのハツまハツをハツ名ハツ場ハツ度ハツのハツ
 一ハツ口ハツ助ハツのハツ酔ハツをハツまハツるハツ
 梅ハツのハツ能ハツ具ハツのハツ乾ハツいハツとハツるハツ
 汲ハツくハツまハツをハツあハツらハツいハツとハツるハツ
 市ハツのハツあハツまハツんハツてハツ枝ハツのハツまハツをハツ
 切ハツとハツまハツをハツあハツらハツいハツとハツるハツ
 扇ハツのハツまハツをハツ紙ハツのハツまハツをハツ返ハツすハツ
 ひハツしハツくハツのハツ編ハツのハツあハツまハツをハツまハツるハツ
 夕ハツのハツあハツまハツをハツ日ハツでハツ内ハツへハツまハツをハツくハツ
 扇ハツのハツまハツをハツあハツらハツいハツとハツるハツ
 花ハツ泉ハツ
 布ハツ袋ハツ
 橋ハツ専ハツ
 千ハツ羽ハツ
 初ハツ雪ハツ
 古ハツ石ハツ
 扇ハツ壽ハツ
 三ハツ笠ハツ
 五ハツ扇ハツ

系不写 旭 系の禁持おが月とも ミノスガキ 松 旭
 掛初と難後 妻ら返り候せよやふらぬ ニモ毎也 飯 盛
 岸延 椽 芒一沈む日ありん チタスサ 二 扇
 流髪くま 思ひ切れぬて君多せぬ 秋 月
 せへう、朝秋 くれは遠矢うさうらとる 一 考
チタカサキ 青 柳
 本立の糸 挽別ら松よ言はらく 露 玉
 志ぶおも足 影つらまう起きささか 小城 星 琉
 貫つゝ網 まぶ旅差の懐 痛い ツシヨ 千 羽
 掃出スル後 離のよしくらく動いとも 不 二

塵心 社月 ぼらまく候 小神よまじぬ 籠る 英ノ井ガナ 五 對
 吹り響る市 芦山へおめでカスとけり 平シマ 上 牧
 若まする毛切 帰系せよやふらぬ 平シマ 山 火
 おくく青田 くれんる雨坪 兀て来る 其 融
 他月 首多 鞆火神の湯うたぎる シ川 只 琴
 后の月 一歩りまゝの敷がすく 稻 葉
 のく仲は ゴシの上出来忍れとも 二 瓶
 女よむ身 袋の入り急な用り出せる ニモトリ 泉 柳
 へらあそ せりのおとる盤歌く アラカ 八 笑

忙の多 チマキヤト 二扇

けさる粉炭 モロクハ 雀亭

トキハクハ 星琉

佳物好 コカサキ 馬川

さへ川流 サマ 岨流

歯と心 ニミヤトリ 玉山

生ひかぶ葉秋 アツタ 露友

春少む アツタ 八笑

淡紙の文長 アツタ 十六文

乾守証 アツタ 芦山

新渡 アツタ 旭

紫陌 アツタ 陌

真花 アツタ 花

旭 アツタ 旭

雀 アツタ 雀

雀 アツタ 雀

雀 アツタ 雀

雀 アツタ 雀

雀 アツタ 雀

雀 アツタ 雀

静か杉系 音へ馬上下房くくん 水鷄連、

振也好の像 多くういせきせきうう部く 月窓

月のま射ぬ 是はけなまどつてり 哥柳

買てま古こま ちきん比震ふあまてう 櫻壽

流う辺川 多根経ふくううせさ 挑真連、

全巻のち支 中あ一人うきいもる 流美

強う守日今 浅敷るて福まう家 泉柳

くらむだきけ 引て美月心電あてら 玉照

かや燭巻 密林拾ひよる何ある 雲樵

さう下苦ね坊 石事の射うてて世い 師坐

船 晴 あり洲 好む野 紫蝶

冷上る音 工イ勢考も出らんう 山火

春の守 捕ふ来古山移くある 石山

皮包のすし 縋うけとつて是袋叩く 二雀

糸一なる裏 英て本そ枕おそり 亀持

まげらや年 かじも拭のせんも涙る 杖之丁

まのの声 石の流るる底えんも 扇壽

おひし 了んも汗出さぬ 朗月齊

赤白汗拭 完て七用丑奈うらうら 倍光

昂う此上 工イ味 倍光

あり 楓 洲の早さそく 擗 花月

袖の舟藏 一漕の舟 舟とふ 納

月夜乃新 曳の松苗 芳々 千羽

下氣乃女 サアト云やア、眼の 真花

豆魚乃ま登 夕のそり 寂の 依 士閣

菱鏡の袴 お年始の紙屋さうせ 露泉

夕魚のしる 飛くも ぎつ 挑真連

痛くぬぬ 梵天さうさう 方一

馬をぬぬ 又泣く 後退く 里尉

砂粒の 息も 後ろ 馬

すく 風 物の毛 擗く 今よ 泉柳

人なまの 中 髪より 少吹 月美

打おき音 あまを 舟の 日 史人

取物ら 舟の 二遍 春哥

友柳の 葉石 脱つる 花光

口解る 傳母 舟中の 千雀

骨の折る 子 藤花 胡白

はやく 併登 ありて 花玉

馬鹿の 苦言 けり 只琴

床 是 舟の 砂粒 映山

小唄の連翹 淺く馬城の甲淺くて折る ^{全ラ} 貫月
 いも於秦 けくぐへ入れたる隠し鳴る ^二 二曉、
 長崎紡車 玄酒流る綿子終く ^保 保泉、
 一むれ 赤んぼの響女房 ^塙 塙女、
 咲立紅梅 塙く 小山 磨ふとる ^柳 柳月、
 赤の玉い豆花 みてまじくともをま ^可 可笑、
 多良の売 ちりりと塙く折水 ^梅 梅里亭、
 紅睡の湯 ^一 一と代もろで蒸りの寸 ^勢 勢方陌、
 ともめ切令 コロ、けり、二夜起 ^花 花光、
 美くても折る 吳腰正一為ともて折る ^十 十六文

月 寄 砂浴の舟、服うきあ ^水 水鷄連、
 脱ちてま 少袖 ともめ切令 ^一 一曉、
 而氣つく青 ちせ中馬の切くぬ ^山 山芝、
 おころの炭 毛刺一抄、け折る ^朗 朗月齋、
 曇り之暗い坂 梢を結く粟菰早 ^水 水月、
 泣きまゝ子 けぬ火あて指 ^一 一齊、
 ちく 蛙 七ツ推灯又 ^其 其朝、
 形痛のまを鏡 仕とてま ^友 友士、
 縄くひ者 悪くお表貸せる ^家 家曾、
 物寸推灯 席く替りて又 ^春 春哥、

静なる花風 なごつく 馬上引延人 シノ 雲樵
 貝売依門 い 水場あつゝ 昨あつゝ シノ 玉先
 篋の音 ひて みるるが 是まゝ 是ぬ ニシ 自^{ニシ}成
 海りの大工 あ くみと 花口おとぬ シノ 史人
 風とさる端 い ち揃ふうけと 足たのい ニシ 山芝
 舟々登り 後 登るるる 札披す ニシ 挑^{ニシ}真連
 次して五尺 ゆ 越小拳 呼吸の扇寸 ツ 芦旭
 替りあらの音 鐘 おけとも 賑々 丸い ア 大忠
病廢持の 飛 子 あ くり 捷^ア子 辰 五二 結^ア 身^ア 々^ア 所^ア ア 山芝
あ くり 捷^ア子 辰 五二 結^ア 身^ア 々^ア 所^ア ア 八笑、

秋雨の夜 秋 葉の 滝切みく 生る 古 玉
 気持多娘 店 々々 呼吸のツリおとる シノ 車柳
 二軒より家 火 々々 夜叩いとも 右 攝
 白ひ 巾 才 存も 未ぬ 如く 碎 花 泉
 降^アりたるを 簾 々々 突々 揺ゆ 揺 玉 照
 分てとら後 弾 々々 揺ゆ 揺 露 有
 不^ア子も 合 ぬも 多の 街^三 々々 真^三花
 揺らぬ ぬ 合 ぬも 多の 街^三 々々 真^三花
 眉をさる 柄 々々 シゴイタ^イ 々々 首振 大 石連
 五々 々々 切^シ 切^シ 借 々々 身^シ 々々 大^シ 々々 車 柳

うん雲 湯へ生くるふ若流

流月の夕 高うまのまの車解ニニナト也思道

陽月の白雲 酒買の養ニニナト也這ふ

細のヒナカキ杖 ホツリト浅く首出ニニナト也双橋

夕の流る 二階へ流るニニナト也橋専ニニナト也馬川

くろくまをる 納戸より口を利く

明ふるる虫 場ニニナト也廣く皿の垢ニニナト也とる

ふかき曇る 赤木割ニニナト也つる流る

ゆるり残状 一人の髪ニニナト也とる

眠るぬ粋 肉のまニニナト也とる舟揚る

喜ささむ 一度車月ニニナト也の雲ニニナト也とる

春更ニニナト也福精 鼻ニニナト也の小額ニニナト也とる

夏ニニナト也の麻 白ニニナト也とるニニナト也の小信ニニナト也とる

冬ニニナト也の月 青木ニニナト也の味ニニナト也とる

春ニニナト也の魚 新ニニナト也が培ニニナト也の徳ニニナト也とる

胡ニニナト也のき 胡ニニナト也の葡萄ニニナト也とる

梅ニニナト也の枝 二ニニナト也とるニニナト也のめぐりニニナト也とる

霞ニニナト也の守ニニナト也市ニニナト也肉 二ニニナト也のニニナト也のニニナト也人ニニナト也列ニニナト也とる

霞月

胡蝶

二ニニナト也曉

春哥

八木

飯盛

トニニナト也へニニナト也ホ

霞光

旭しけ あけしげ 旭 アツク 旭

風よとどろき かぜよとどろき 里 ツレマ 里

はげしき雷 はげしきかみなり 大忠 オホタカ 大忠

まきはなれ まきはなれ 稲葉 イナバ 稲葉

涼しき夜 すずしきよ 翠 スズキ 翠

好切なみ このきれなみ 道楽 ミチガク 道楽

吟する夜 うたをよめるよ 二雀 フタスズ 二雀

燈の光 あかりのひかり 花 ハナ 花

商人 あしひら 兔月 ウサギツキ 兔月

葉と花 はなとはな 青柳 アヲヤナギ 青柳

鳴る なる 玉山 ツルギ 玉山

風の多の影 かぜのおほいかげ 曾夕 ソノト 曾夕

すくすく すくすく 里玉 ツレマ 里玉

春の心 はるのこころ 玉照 ツルギ 玉照

さし込 さしこめ 流美 リウミ 流美

連なる つらなる 遠霞 トウカ 遠霞

青なる アヲなる 王子 オウジ 王子

取入る とりいれる 蝶 テフ 蝶

花 左文

馬人 花童

濁つゝの海 柳月

一足まきだん 翠

手番針山 佳朴

葱くさい口 雀亭

新酒居 橘専

耳のゆり子 旭芝

とんぼと狗 錦出

赤烟の行原 曾々

下ツコシ

多ゴ

ニシ川

セロクハ

ミソ作及テ

三

春日てくく 田上けやあふるる通る 二 瓶

あふ深き前舟 出うける常の肉よこし 二 山

夕 日暮 呪のつらさいボ落る 三 柏之

替名ト子刺 舟のまねと集てり 二 雷

海人 鈴巻 実の入り切らぬ痛く痛る 木 白

夷しんト女 赤徳の見隠んやせぬ 壽 雀

張借る氷 みるん 養うるお娘めが 一 味

腹うらり けやて 節ふる 床よあく 玉 照

深坂のきき音 杖で 繰合り 写り家 夙 夜

かりて 渡り橋 鳥ゆきと 鳥もや 鳥理り 星 琉

白ひ三葉 夕の秋深くもて号る

痴癡妓 此名おの目也細のそ

おだのむ 海久く山の陰く出る

之味縁松 せごう一艘停るり

おのゆふ旭 ぬうう巨磨羅よ来る

さめかき餅 袂のま分おひ出す

病せら帆板 けり月と減る後うん

落れけく ちまふあまふはる餅

江戸無交り さくら唐草今うてる

おきお後 卯の終り汗く出る

水鷄連

藤花

朗月

如醉

元日

二雀

山芝

木白

千羽

味足齋

ゆ度が構 おも虫巻紐をトイ

傍つねる栗所 落のよん喚氣おの

はるゆ返み お茶う出くおて来る

或志修りゆ 癖をむむ留の毛うま

黒きりミイラ 巾巾糸けり寸留あぬ

はるの湯色 細いてらう結のちの候

すが服のしゆ 二葉と澄りし紙着る

舞臺の娘 話る屋あがめせぬ

口をくす栗系 細の端うあふぬ

おの結帯 湯氣のまお提り

平花三

梅里亭

松濤

杉古

千羽

橋専

車柳

保泉

平嶋

螢火

一おりの出り奴

物でも只
怒ぬ男

お上の整美の毛

新肉の所通

辰はーど

おそまの書判

穂の野の流由

腹くらなり

揚子やの和箱

瓜張りのい

川意の浅り耳にけく

盗人上戸ては海人

塵うも水してこ口流む

魚ハス〜色〜イモで無イ

吸おおそ〜ゆ〜腰き〜る

笑つるよ〜ふ〜ぬ〜心

尻にけい〜る〜埃〜ぬ

浮〜る〜年増小僧〜

夏〜あ〜〜〜桂木〜

弓〜さ〜〜〜お好む

玉丸

二曉

号中カナ橋専

タケ田崔洲

方一

子イリ六六

寿楽

平玉照

花三

素素人

凡のむ

ヒコツ先生

お馬子や〜

之は深の吉コ

川側八蔓

刺きの天志

家〜 桂

耳のまを痴

並ぶら張

お起の内

夏〜そ〜海〜〜湯〜ある

揃〜提〜る〜お〜ま〜い

店飾〜つ〜て〜為〜る〜ん

瘡サ〜ま〜薬〜〜の〜医者〜等

おの習〜る〜塙〜〜動〜く

珍子のチギレる〜り〜と〜る

隣子の川〜よ〜かん〜〜二〜ぬ

贈〜手〜れ〜切〜く〜か〜き〜ら〜す

や〜ぶ〜ら〜書〜き〜ま〜よ〜ぬ〜り〜し〜ん

年〜ハ〜ソ〜の〜そ〜尋〜と〜る

梅月

二六ナシ白竜

ワシ如楽

兔月

秋月

サヤ五郎

三三ナシ思道

下ラ左文

飛鳥

英大カキ松旭

篋の音 松の燻きーまこあつひ 眞花、
 氣をふたふ ホキツト足の骨う鳴く 曾夕
 降けりぬ ちくく鴉焼の若子らまひ ツマ
 肉蔵のはをを 龍神しては舞合ふまら クサヒラ 紫蝶
 めるも小川 抄の中へ牛房渡つる 大 里笑
 氣のゆる風ア 小サイな甲さしして折る フタニ 二雀
 叶 あり たちく一を判し給ふ アツタ 木白、
 鳥の老風 宿をゆく雑糞登る 三ツモト 飯盛、

嘆くま物 走ーくまこ扱あまる 知友

じかくえを夜 田の時切つてとりつる 不 二
 志もつれのまぬ うらむ尻り利キとる ヨユスカ 三 竹三卷
 昔の踊る茶合 舌刺きてあまの腰叩く ニラニモト 飯盛、
 ももる娘の子 接ぐとる眉まよこつる 一 サヤ 老 齋
 涙りも ひびくあつ帆々まよい ニクヒネトモ 野 月 雀
 空の折す 犬の子よ菓子ほろそり 野 月 雀
 うららの夢 春たけつる末のつらぬ 平ニ 士 閣
 をほえる犬 物をも並けぬ給言す エカクラマ 山 火
 美しい花月 今もそ居つる童使く フナ 青 陽
 近きと鼻毛 紐よ字繋りいつけとる 二 山

寸風 上ゲ 楮 水 氷 柳
 詠 候 法 花 出 守 蚕 尾 の け
 た ち ぬ 鼻 骨 月 未 産 法 付 守 骨
 税 捨 好 織 撰 之 出 され 十 七 作
 物 澤 御 貸 一 意 れ 十 楸 守 寸
 水 守 矢 立 ぬ ね 守 御 守 蓮 変 寸
 香 也 人 湯 吹 出 心 風 経 操 ぬ
 中 宿 の 好 織 首 実 ぬ ン て ウ 方 月 守
 耳 御 守 給 御 白 粉 骨 守 色 ぬ 寸
 川 宿 の 守 給 吹 出 心 風 経 操 ぬ
 鳥 居 橘 專 川 露 玉 鬼 角 其 朝 三 文 貴 持 松 月 泉 柳

首 蕭 笑 寸 産 料 記 一 寸 骨 町 守 楮 守
 首 守 好 織 好 織 一 寸 守 楮 守 寸
 二 人 守 好 織 守 好 織 守 好 織 守
 物 守 好 織 守 好 織 守 好 織 守
 首 守 好 織 守 好 織 守 好 織 守
 物 守 好 織 守 好 織 守 好 織 守
 吹 付 守 好 織 守 好 織 守 好 織 守
 どん ぶ 守 好 織 守 好 織 守 好 織 守
 友 佐 守 好 織 守 好 織 守 好 織 守
 吹 付 守 好 織 守 好 織 守 好 織 守
 紫 蝶 鬼 角 芦 山 雲 樵 二 曉 飯 盛 山 来 三 竺 水 月 大 笑

風を鳴戸 粉菜のくさ酒、酔ふ 三三六 湖月

流い暖 けうく靴の履を捨る 千々衣浦志 翁齋

葉葉焚焼り ひとくくくく 祥宜懐い 二二四 月窓

のあくき 二支ほくく 脊伸き 三三二 車柳

鳴きを魚 ちんぐさい 程ゆき切る 三三二 泉柳

白糸河の炭 溜りの倉をちんぐく 三カク 畜意

鳥くく 蠢のあくく 金解鳴る 三三二 扇壽

押うけ風管 五ノ枝葉く 建居き 三三二 鬼角

照之を吹判 風邪押て 病をき 三三二 竹馬

鳴る形善美 大掖口入 出ぬ 三三二 無詮

沈切く 柳 掛く 膝をく 息きく

葉の裏に 粉 におくく ちんぐ 隆香貫

つくを葉 苔葉く 葉灰変つ

歩進の流 唇くく 舌をく

あきく 柳 柳て 割つて 柳伏せ

痛持て 柳 ちんぐ 柳て 柳

柳て 柳 ちんぐ 柳て 柳

葉げん 柳 ちんぐ 柳て 柳

柳て 柳 ちんぐ 柳て 柳

柳て 柳 ちんぐ 柳て 柳

菜の根が 刀かついて 吐いて
 君の根を 乳 宛 届けて 二ゴキ解く
 赤銅の行隠 工イ 活 織人形 ねえ ねえ
 千ヤット 一 揺る 揺る
 けり 蝉 高き 解く 法り 掃く
 待て 居る 連 得て 其 樂 公け 下る
 けびらの 雲 中 新 織の 終る とき
 居形 ぬ 控 肺 腫 一 ちく ちく
 天へ くの 禿 伏す くと 矢立の 骨 伝ふ
 始りて 肉の 糸 結る

夕日の 如 志 志 物 犯の 実る 色 じ
 ぼろ 駮く 招 けり 痛い 後 ひと
 出 ぬる 糸 溜 首 ぬる 菜 黄 澄れ ぬ
 あまろ 鼻 苦う や じや 連下 女 並ぬ
 うろく 柳 出 ぬ 立の 翔 雲 てる
 あく けり け 日 帰る けり 足 巻る
 百毛 堂 舌 後 た ち ち ち ち 雑 ち ち
 つけて 糸 巻 其 ち ち ち ち ち ち
 掉 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち

櫻 寿 サクラウラカ
 露 玉 ス
 哥 柳 ニホバタ
 桃源 連 ニホバタ
 一 蝶 三ウシ
 梅 扇 三ウシ
 流 美 三ウシ
 飯 盛 三ウシ
 月 圭 三ウシ
 橋 邊 クマイ

柳冠きて結ぬそり フタマタ 二雀
 撥て袖入削て寸 サ 曾夕
 先か毎く紗布とく ニカウラ 馬夕
 女房のやうな始末さふ サヤ 青陽
 湊入ううと帆と心 ニカウラ 老雀
 寸控の掛と好織なる ニカウラ 如泉
 船の水鏡 ニカウラ 玉山
 碎くる馬士 エロクハ 市人
 廊下の口舌 アノハダ 五水
 新らしい事 アノハダ 限月でヤタ人

汗の川に 三 旭 芝
 首の結の糸 三 水 月
 はやすと 三 芝 仙
 とろい糸 三 松 翁
 材の糸 三 花 三
 息のシリキ 三 春 哥
 糸の糸 三 来 逸
 氣の糸 三 螢 火
 糸の糸 三 泉 柳
 糸の糸 三 齋

町々々号 五のくくく 萱屋より
 枕の床 向りてくくく 約ふさの
 ちりり雪 枕割と相干りてくく
 焚立の版 雪の上で 草鞋をく
 吹くねまき ぬれくくく ぬれくくく
 碎て居る幣 敷をてギヤウセン 突了る
 五月雨 浮了 梅法 振てくく
 筆燈籠 小川をく 蛙 立
 むぐく船 脊中へハタとくく
 下夕日 くらくく くのく切ぬ
 右 橋 竹ノ 蛙 立 暉朗 水臭園 梅香 司朝 市人 山月

待退行 一 下 齒 きのく 草く 流る
 業々店 口 明くく ちやくく
 日 出 新 樹 屋 所 あり ぐす 極 きの
 息 守り 風 吹 け 伏 了 け 草 拂
 水 け 流 風 吹 け 伏 了 け 草 拂
 結 雪 意 意 後 上 草 履 ば け け
 魚 娘 の 後 隣 の 子 へ 草 を
 少 糖 の 草 を ひ け け 定 石 草 ぐ
 山 火 月 主 山 月 霞 雀 橋 三 山 連

花吹雪や 日て焼畑釜の煨白 ツシマ 千羽
 後て吹雪 ポカント新編集の末 三百 梅里亭
 透後酒 すくく定夜一里ある アツク 遠霞
 きりんの魚 古付う守髪 法をせよ キヨス 映山
 春の香 小家へ遠入とる雀射 キヨス 上大富
 出歌歌の夜 正イまさしくコウコウ キヨス 梅里
 旅の故屋 房の枕もして見くら キヨス 花三
 毛けくの籠子 杖して立ち 揮をとい ツシマ 二瓶
 ちくくつ男 頬にやわら 紅毛イ モロクハ 千羽
 出遠よ人 米よさ守れ 振らとる モロクハ 五水

白切とうま風 生海氣をまき形を 山ナキ 梅香
 用のまひ日 猪了と作と入 嵩を ヒハシマ
 吹雪る雪 藪て少暖い 漱古振る 上マキ 山月
 澄々居用水 唐相樂も 赤く門 アツク 木白
 黄心穂麦 床も 振る 棒 ヒハシマ
 けりい形 石の擔ひ 連て 二 東松 星琉
 浄一風 みぐらと 揮子 辛森 シ川 壽雀
 名筆の娘 人のさくらと 神 ミノチキナ 車柳
 ピント張帆柳 昔のころ 誓 拂 シ 月窓

涼しい海に 一穂はくんで早稲をとり 梅月
 けきと娘 ちつと汁を煮る舟の碇 吳雀
 利入と金 戸口をくく碇の浮く 其融
 をとくく 建も流ぬ舟子通ふ 双橋
 物結の草 扣地の葺かして旦の 鳳侶
 塩くく草 一人くくて碇をかく旦守 露有
 古玉 古縁の茶室 湊へくく船は来る サヤ
 始る春酒 来りく解と掉仕組ム 水雞連
 生皮きんごん 為され碇の現行く アツク
 家曾 夕日と老鏡 夕とくく下舟の中を 保泉

明けのぼし 日垂る新樹白ひまわり 梅
 暖い白灰 正午伊勢はくぬきつら 武山
 教さぬはくはく 血を流す舟とくく 双橋
 蓋のぼる茶室 火をく碇をほくく 飯盛
 花き草花を 火燧をくくく羽織りく 月主
 中揺子 捨ち一筋も楽くく 洲下田連
 り形の八 賭場の名々通くく 二光
 足腰のあ 物のすくねくく 大松居
 借るあつ 邪門でくくく 哥柳

石のひびく尺 土の部合をよめてありん
 出まゝるゑ くらけと先ツポおきて居る
 飾の菫菜 火留すゝお茶ぶらり
 替居の二六 八イ巾市の毎おそり
 櫃の襖掛 切芝ふさ寸休割る
 赤方流の尻 坊々痛まぬ速動を出さる
 井戸戸端 若石のわが若芽吐く居る
 世々の時流 つけのゆくり物より
 ちささいお 神々合しておんとも
 ちささいお 柳を流して茶漬出る
 柳子、木白、木白、三、花重、柳月、桃源連、

池へ船寄 枝木ほつと水が飛ぶ
 白くゆの 名もつらとが利うり
 舟の風呂 病て何もいもい
 舟ひや 揚やいおらひり
 二ト張帆柳 けづ寸濤の叔が飛
 夕ののる 流美 流美 流美
 痛む心奉 流美 流美 流美
 吹けやす緑 一行ろくしてガワのぬ
 連舟橋 何舟やト巻眼く
 木白、木白、木白、木白、木白、木白、木白、木白、木白、木白、

戸をさる風 後の身くさる馬あけ
 あまのこり 小イサナ奇く居りゆく
 雲く入る 常へ美立の雲も
 ほろり裸令 泪の意うて 珍掛ふ
 故村の五杉 借りてをうて 遠襟る
 川とる 裾 押合寸地 の干りも寸
 氣を穿た 次くくも 泣くもあ
 清くぬ中 呼吸もや 返りせぬ
 傘の柄り 夕くとい 繪曲 けりあ
 柿てくるや 高貴物く 小鳥 派子
 旭 芝
 朗月齋
 二山
 南朗
 玉山
 曾夕
 道樂
 二扇
 木奥園

夕照の蝶 漏りゆく 解くと 勇く 浮く
 雲を 父の娘 拭き 心 洞壺 立ちゆく
 風を 吹る 山 シワリト 風名の 根 落ち
 雲を 巻く 良 合へト 志と 意と
 暖い 月夜 紀伊 山 頬 揺る
 鳥を 鳴らす 初 作 白く
 夕く 輝く 名 藤 くる 奴く 子 首 かく
 赤 髪 賣 拭く 車 立 流る
 行る 凍 梓 実 さつ 末 出
 隣り 内 籠 庭 斎 の 雛 飾
 大森 文
 左 文
 桃源 連
 花 玉
 月 窓
 運 山
 水 雞 連
 市 人
 吳 道
 秋 月

昨百令の瓦 唐けと年てたぐせい ^{サヤ} 亀年
 所師の医若殿 年の連て地をいする 士閣 ^{アタタ}
 吹らる麦糠 ふう心そき入乳けする 八笑 ^{ニシ川}
 麻綿付 細く少くて香くけり 車柳 ^{ニシ川}
 初よるまよ 肉のけ戸ハ波くしんい ^{フタゴ} 上牧
 洗後い岐 麻きくエライ声上る 柳月 ^{フタゴ}
 事よき繁葉 糸紗唐けの均く迷く ^{トヲコ} 花重
 亂のよ徒 出来くよ後くんて 紫左文 ^{ニシ条}
 薨子のむ吉 熟材すくくセ夕ほく ^{ニシ条} 紫左文
 がくく雑 細掛とおみど ^{ニトキ} 真花

ち成る種オ 其ひくくく菊多る ^{フタゴ} 柳月
 きヤシの砂糖入 どのるも好きく ^{ツシマ} 玉之
 橋の上 風と烟まのそあう ^{ツシマ} 方一
 吟とす 唄の繁結語さ ^{ニシ川} 琴
 テ人 ^{ニシ川} の上テり ^{ニシ川} 梅枝 ^{ニシ川}
 氣味のよ湯上り 香くこの借うて ^{ニシ川} 扇 ^{ニシ川} 壽
 流ゆる溝板 遠と止虫の足早い ^{アタタ} 二扇
 多く ^{アタタ} 名法て ^{アタタ} 月窓
 之法にキク ナボリト ^{アタタ} 瓶
 吹とよ雨 送る ^{アタタ} 梅源連 ^{アタタ}

浦乃の灯籠 源をせてふる馬のゆく
 水と乱のまの 店のヤツラがとらふまの
 中雀鳴る海 極く珠細ほきふかす
 信濃の舟楫 ニトコもなて飯まよ
 柳子の軍 冷よさうらむおまよ
 船の列れ 氣のせく帯て負なぐる
 舟上新樹 洲原きくさふまよ
 冠せる色 好きまのねんまよ
 ココロの眉月 深くてあまのぼり
 吹とふる 松子の介とて状後寸
 山旭
 吳雀
 二扇
 山芝
 星琉
 士閣
 橋専
 車柳
 露玉
 桃源連

百晴の町 桐苗一そゆ擔つてり
 大半月の楳 糸紗捌きのあゆま
 静よかり 早梅ささりつと切る
 通るまよ 福とらふんとあ子よ
 新しん楳 灯袋よまの原まよ
 蜂神の風名 音よんくぬ乳の清る
 舌尾のむ 於る地縁おとあ
 仕立上の浴衣 今物障の出と鳴まよ
 後吹く下衣 店の掛川後まよ
 大畑産の梅 葉末のくまよ
 松浦
 萩原
 師室
 都角
 露泉
 思道
 四三
 玉之
 車柳
 飯盛

行一人様 衣きんてあかねとる
 涼山 ニ乙
 松の所ま 横日のあるる首包む
 清賀
 修りけお後 おくそとてあつて細きま
 吳雀 ニ東
 朝日丸 末樂とく 只川とく
 梶源連 ニ東
 りつゝ解き 殺立とある奴うり
 鳥川 ニサキ
 唐子並と摩 胡椒歯へゆる海れとる
 二瓶 ニ東
 冬控と日傘 浪結びせる小葉さく
 梶源連 ニ東
 垢もる冬 信せん燈押寸形まゆる
 一哥柳 ニサキ
 りつと息吹き どんで呉りもして神もそ
 二瓶 曉
 唐金の水壺 朱肉玉の火炙柳く

船 アツタ 大忠
 眠 ニ西ハタ 梶興連
 舟のる ツレマ ヒハシマ
 笑ひふ 三毛トリ 千羽
 魚上りの舟 東城 泉柳
 ちきい早溜 立中とつて赤い
 星疏
 怖い光 イヌ山 右橋
 樵のまき イヌ山 大石連
 下男のまゆ 冬木のけの寝とあ
 古玉
 時分のる 戸田 花光

浪々稲穂 恰好のよい新家まの 玉之
 大冠冠り 芽心も金買りせし 双橋
 角つ正芦 浪をえがれかたんと 秋月
 極てく庭 店どや塩水そりれも 水魚園
 うとふ系 芥と理と地と空とム 枇杷嶋
 掛る毒妻 倉庫の島と河物と 松月
 白いのも雲 庫裏の山と安か涼しい 不二
 涉合々上 痛みのせめて古儀返す 梅義
 柳ぶらる金魚 菊茶の苗植てた 古玉
 修小紀紫蘭 実居おの馬打も心 東圃

天上と花 羊と流れと首とと 其融
 浮て居る日 氣もどろもも抜ぬよ 橋邊
 夕すしと けくろとと門て指鳴らす 芦旭
 其四段のま状 船の気もト揚るらと 梅枝
 向ふ風の風 道ししてあそぶ原廣い 星琉
 志やるお城 いとびキヤアセトのやとあく 市友
 其の馬子や 仰ふしねあられん 下次
 其の玉も子 氣をては心初葉はらぬ 兔月
 雷も美の 洞もあついでいさう 二瓶
 浪れらる系種 浪や桐の葉かげも 露玉

心つやう子松 二儀ふゆる角下海い ニサキ 水月
 扱と長髪 判人小豆くらくら ニサキ 市人
 艸 石系 垢巾 一の燈 養實 ニサキ 車柳
 大 花 髪 海 乞 汁 けり 海 つ とも フナイリ 喜遊
 吹 けり 手 舟 へ 今 好 意 して とも フナイリ 二 金
 可 毛 けり 珍 掛 外 良 好 意 して とも フナイリ 二 雀
 花 けり 多 川 神 けり とも 本 能 けり とも ニサキ 星 琉
 餅 搗 けり 鳴 籠 曲 家 の 鶴 の 画 中 才 けり とも ニサキ 紫 百
 強 守 新 奴 角 目 けり 少 年 海 けり とも フナイリ 呂 閣
 千 里 力 けり とも 別 けり とも 亦 けり とも フナイリ 萩 原

浪 見 けり 湯 分 けり 活 飯 けり ニサキ 柳 汀
 髪 大 の 毛 けり 寸 氷 沖 けり ぬ り 湯 飯 けり ニサキ 仙 花
 活 城 結 の けり 何 所 けり 亦 氣 吐 けり ニサキ 倍 光
 赤 けり 柳 橋 山 幸 けり 亦 けり 中 子 けり ニサキ 双 橋
 赤 髪 けり 眼 於 けり とも 上 七 十 楊 枝 投 けり ニサキ 鬼 山
 封 けり 亦 義 世 活 けり 亦 活 けり 上 けり ニサキ 橋 専
 柏 子 けり 亦 けり けり けり けり けり ニサキ 兔 月
 肩 けり とも けり けり 甲 斐 けり 入 けり ニサキ 一 考
 赤 けり 亦 けり けり けり けり けり ニサキ 一 考

大

禁けり風合 少年 輝て事まゐ
 朗月齋
 里ふあさ色 並つて山切 むらやの海
 兔月
 風を吹く声 かくるる内へ 環やま
 青柳
 玉扇の縁 弟理の十分 ころころ
 玉扇
 かさりと一翳 多附おそり 寂んとも
 市人
 産物も本 少くうけて 素湯うけ
 庭雪
 朝のの鶴 葉をゆり 足さげら
 松源連
 押出せんと 多成けくね 毛がら
 春哥
 松島すゝる 院におそり 袴はく
 松濤
 相火所 艶かす 素浅六すうと
 露玉

一 蝶
 二 蝶
 三 蝶
 四 蝶
 五 蝶
 六 蝶
 七 蝶
 八 蝶
 九 蝶
 十 蝶
 十一 蝶
 十二 蝶
 十三 蝶
 十四 蝶
 十五 蝶
 十六 蝶
 十七 蝶
 十八 蝶
 十九 蝶
 二十 蝶
 二十一 蝶
 二十二 蝶
 二十三 蝶
 二十四 蝶
 二十五 蝶
 二十六 蝶
 二十七 蝶
 二十八 蝶
 二十九 蝶
 三十 蝶
 三十一 蝶
 三十二 蝶
 三十三 蝶
 三十四 蝶
 三十五 蝶
 三十六 蝶
 三十七 蝶
 三十八 蝶
 三十九 蝶
 四十 蝶
 四十一 蝶
 四十二 蝶
 四十三 蝶
 四十四 蝶
 四十五 蝶
 四十六 蝶
 四十七 蝶
 四十八 蝶
 四十九 蝶
 五十 蝶
 五十一 蝶
 五十二 蝶
 五十三 蝶
 五十四 蝶
 五十五 蝶
 五十六 蝶
 五十七 蝶
 五十八 蝶
 五十九 蝶
 六十 蝶
 六十一 蝶
 六十二 蝶
 六十三 蝶
 六十四 蝶
 六十五 蝶
 六十六 蝶
 六十七 蝶
 六十八 蝶
 六十九 蝶
 七十 蝶
 七十一 蝶
 七十二 蝶
 七十三 蝶
 七十四 蝶
 七十五 蝶
 七十六 蝶
 七十七 蝶
 七十八 蝶
 七十九 蝶
 八十 蝶
 八十一 蝶
 八十二 蝶
 八十三 蝶
 八十四 蝶
 八十五 蝶
 八十六 蝶
 八十七 蝶
 八十八 蝶
 八十九 蝶
 九十 蝶
 九十一 蝶
 九十二 蝶
 九十三 蝶
 九十四 蝶
 九十五 蝶
 九十六 蝶
 九十七 蝶
 九十八 蝶
 九十九 蝶
 一百 蝶
 梅義
 松風連
 胡白
 山流
 王山
 二曉
 初樂
 一南

嘆ふらむ 世活しは物来り
 漕ふ舟 片肌ゆいど色白
 松の白い 杉柳の灯を思ふ
 ヒガのそい様 え活ひわらふり輝い
 けしきよき 梅のハヤと乱る色
 まごけの空 のくろくゆき雲着る
 らまの月 暮る夢をつまらぬ
 今も志存 汐しと海に船のそく
 藤々きらみ づら切とるまを流す
 掛る物毛 雲々雲々の川も鳴る

納 ナツ 五 イナ 對 東 素石 イナ 大石連 ニ 佳朴 サヤ 金水 アツタ 泉里 山サキ 八笑 サクラ 梅香 サクラ 櫻壽

神輝 目まぼろし
 歳をよ梅 大倉守る鹿脚
 うらうら系 いろはの衣敷
 結て若葉 花立る心
 片入の酒 中 びん

ほぐれらるる三橋を押え
 ナヤキで月系うらやせぬ
 積り体よめと令後寸
 終て上つてあ辰悪イ
 紫炭く一暮りてを
 まるや者今やたれぬ
 ちく縮ゆきの跡消えぬ
 啼く鳥版々片れぬ
 雀水の噪小喧下る
 一人よまを言ふ人イ

鬼角 ニラ 東月連 ト 杉之丁 ト 左文 アツタ 照月 イナ 花蝶 イナ 露竹 イナ 雀水 イナ 双橋

沈むる月 四つ子流るゝ湯のまゝ
 浅くすゑ 自らよみゆく 亮く嘆く
 扱ふぬ徳者 つらんとる大進也寸
 捷子いふ 一卜後の下女眼見しとる
 痛持珍珍 嵐の登る車いとし
 ちかちか 柳く喰つく 多戸燃る
 ちかちか 通れしとつて魚子も
 目と物色 通れしとつて魚子も
 けつて枝木 ろけと古瓶で鹿作し
 原曲にみ 花の挿陰あられぬ
 橋 專
 千羽
 雀亭
 師室
 水月
 清賀
 素人
 春柳
 二春
 二曉

女年がハナ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

連翹の垣 ちん串て後あつた
 日傘傾け 芥子脱て流引つた
 扱火あかり 赤煙灰りの花をきい
 芥子落たて 法持たつて 地をきい
 ちかちか 姑いんこ杉ふわん
 ちかちか 楊枝と能の青をきい
 ちかちか 雪水の所をきい
 火煙の口舌 白梅のしをきい
 ちかちか 今あつて能子持て居る
 押さへ居る 少東のつてしをきい
 只 琴
 真花
 五水
 耕
 壽 雀
 水 月
 無眼
 松風連
 花 三

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

ツツ

二の雪 対どと今の日方入る ニカウラ 春旭
 気さぬぬ 多る房斗 江ぶつとら サヤ 龜年
 物々す掛灯 小 多うてきせらけさる シ川 春哥
 山乳子首美 石の形りと雲つとら 車柳
 子梅抱 多まぬ川水泳とら 千風
 飽のあをさ 大の用しや、世所なる 吳雀
 大糸雲のほ衣 流 子を一輝しとりたり 大 雀水
 横マイ柳入 ぎん橋入ぬらお具とける 大 里笑
 吹けく雲 かしまの式飾る 芝仙

柳さく 新う菰と種のをとら ナカキキ 二類
 横入存湯子 澤あつとく人通 ニカウ 橋木
 空に柳 フタマタ 柳枝
 天に粉ぬく フタマタ 雅晁
 ははせり ナカシ川 里玉
 掛秀の白ひ チヌメ 東撫園
 桂枝水 ぬのこの靴 三も 花泉
 双六岩 ねい 三も 湖月
 婿の子月 お髪まき 三も 度候
 去る及古 吸切つて形 三も 野亭

寸じ 虫 消くさる火繩 吹いさる
 紫の素袴 入高 一投 踏染 袴
 洗いすく 産く ぼく 燈移つる
 うねい ね ち ち ち ち ち ち
 ささる 積る 狐 ね ね ね
 取平 杖 巾 袴 袴 袴 袴
 船 舟 系 雲 剣 糸 裾 拂
 洋 袴 の 鬼 燈 ハカマ
 きしん 雨 繩 引 了ら 子 犬 あり
 現 づ 柏 杞 の 芽 け ぎ ぬ ぎ ぬ

チタシ川 可 明
美ノホ 雲 紫
平 山 火 水
ニハサ 梅 扇
チタ 吳 雀
チタ 壽 樂
チタ 度 候
ニカ 可 明
ニカ 橋 木

照ちく 夕日 花 入 縁 ぎ ぎ ぎ ぎ
 ほく 後 の 雲 け け け け け け
 げ け けん 洞 エウ 照 ち ぬ ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ
 ドヤ 樂 みの ぶ ぶ 見 ぶ ぶ ぶ ぶ ぶ ぶ
 雲 の 象 杖 又 流 ね 藤 ね び ね
 廊下 の 口 舌 控 ち ち ち ち ち ち
 物 ち ち ち ち 水 鏡 の 何 ち ち ち ち
 浴 ち ち ち ち 身 の ち ち ち ち ち ち
 洗 ち ち ち ち 繩 ち ち ち ち ち ち
 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち

チタシ川 里 玉
セウ 柳 汀
ニナ 士 閣
ニナ 水 月
ニナ 其 峯
ニナ 清 哥
ニナ 春 水
ニナ 野 亭
ニナ 花 月
ニナ 垣 齋

露 竹
 泉 柳
 雲 紫
 春 水
 里 玉
 小 林
 花 泉
 巴 升
 星 琉
 五 扇

夕照のまき雲 あり床巻の本が白く
 登 龍
 千 春
 三津二
 玉 子
 兔 月
 柳 月
 喬 木
 貴 遊
 雅 鼎
 松 月

水井〜風薫り〜
 梅枝女
 花遊
 一齋
 狙山
 里笛
 千春
 玉子
 野亭
 花遊
 馬の齋中〜
 花遊

村々の糸
 柳結〜
 里玉
 池の糸子
 ありお〜
 井火
 帯の音
 長〜
 湖吞
 色甘〜
 藍〜
 二丸
 吹〜
 ち〜
 八木
 夕〜
 ひ〜
 塙
 宿〜
 飛〜
 二曉
 雨
 花亭
 兼〜
 花亭

走りしと墨 舟りよ史の粉々落る 山并キ 月松
 ぶらぶらと 浴衣の尻とよぶ チクシ川 里玉
 山菜花 縄と踊りのまじり有 三六ラ 一曲
 瓦の透る幣 清れと揚を株紀す 且
 赤とんぼが 浴衣ぶらぶらと道唐い こまがキ 阿原村
 怪鳥教へて 冬くまをらお茶んを こまがキ 雪道
 早口の糸御 層がまを愛とて浴衣かぶく 二 曉
 色付と娘 丁稚のハエギリけり 五路 常竹
 坊主をば塚 埃の遠入へて船守 五路 胡白
 白くゆく肩 冬をよめてて樂 五路 南雀

志けしとま 乙名の退つては チクシ川 鈴雄
 妻の依 てもて結とてよ 美ノ仲ラテ 可明
 老鏡キ 茶漬 灯がゆげんとて 美ノ仲ラテ 橋専
 坊主のよ合 七ボシをまも 美ノ仲ラテ 雅鼎
 ばらばら 雨 さんかの退つて 美ノ仲ラテ 三津二
 物言のま 今ムラ 研ぐ判方の又 今ムラ 玉照
 ひしひの声 くらげのま 今ムラ 櫻連
 さらばおら 今ムラ けり 今ムラ 其扇
 席下のす 今ムラ ね 今ムラ 花泉
 切名のよ 今ムラ お茶ん 今ムラ 阿原村

鹿心まき石 ニウトラ 春水
 珠炮神 チタカ 桂翁
 入梅や フクジマ 里玉
 鐘ひび シラカサ 鬼目
 船も アウタ 祐芝
 苔も及び守 ニフカサキ 石井
 卯えつ ヨツヤ 朝月
 茶の羽織 ヨツヤ 古有
 河舟の トガ 山芝
 舟の トガ 花光

金を モル 雅龍
 念の イナク 露竹
 切の トガ 一二二
 及考 モロク 雀亭
 つま ニウロ 月窓
 子バ チタカ 九尺舎
 策づ チタカ 狙山
 例の チタカ 蛙立
 喜の チタカ 花遊
 おま チタカ 垣齋

西凡の皮 一丈もゆた素ス洞ト張リの 其融
 雁ヱマツでも雁ヱマツ行 出デてあハまハまハ摸ムもカんハぬ 船フネ子
 船フネ張リのハ辰 ぎセるハ遊ビしハこノれハる 橋ハシ木
 汗アセのハ居ル婦 簾マタタビをハ上ルるハまハりハ是レもハぬ 橋ハシ専セン
 情ナリもハんハあハる 出イ解ゲくハ遠ト入ルるハ情ナリ追ツふ 阿ア原ハ村
 大オ後ノ十ト飛ト字 遊ユびハ振ルくハ心コをハる 里サト玉
 晴ハてリ夕タ立 茶チ田チ拂ヒつクるハ魔ガイをハる 湖ウミ吞
 何ナニぞハんハ節ノす ちチもモりハはハ感カんハ世セ信シを 柳ヤナギ月
 我ワ等ガのハちチをハ 糸イトのハ知チぬハ声コエとハ流ナる 二ニ丸
 まマりハあハのハこコり 乳チぬハいハづハ袖スベテ邪ヤ才サとハぬ 柳ヤナギ月

まマ冷レをハ既 新ニ糸イトをハるハ後ノちチ折ヘり 器ウツ水
 赤アカふハどハし 宿ヤドのハ表ウラはハ角ツノカハ場バとハく 里サト玉
 鳴ナりハ寸ツバ麻 世セ信シをハるハ婦メらハんハまハりハる 月ツキ窓
 老オよハあハをハぬ いイづハ寸ツバ柄カきハりハまハ辛カ抱カ無クい 玉タマ子
 夕タ立チのハ風 けケこハ物モノをハるハ帯オビをハる 千チ春
 角ツノのハせセんハどハや ちチもモりハはハ感カんハ世セ信シを 里サト厨
 あアをハんハとハる 反サカちチをハるハてハ肩カがハあハる 鬼オニ外
 まマりハあハのハほホック 段ダン白シロ髪カミをハるハあハをハる 呂ロ閣カク
 夕タ立チのハ草クサ エエット谷ヤ白シロのハ砂スナはハもハぬい 月ツキ圭
 どドボボゆユとハし 糸イトをハるハまハりハあハをハる 竹タケ里
 二

幼敷きり 思つて言月かゝぬどろ チタカ 挂翁
 陽気な町 せうふまふまふと今夕くさり ニウロフ 春水
 並ぶての御物 のを御とさし人たえぬ ニヒ 器水
 おまの梅え おまの梅えおまの梅え ニウロフ 三文舎
 月下し 大勢で梅のう 梅をい ニウロフ 雷車連
 無てはるる ニウロフ 清させる口合 ニウロフ 里笛
 鳩のうらぬ ニウロフ 牛若留の子ら ニウロフ 可明
 足えす ニウロフ 梅のこがけ ニウロフ 映山
 鳩の声 梅して梅して木城あ ニウロフ 阿原村
 突てらるる物 梅うはづす ニウロフ 梅が花 ニウロフ 登録

積りある炭 花のつ 注 ニウロフ 山火
 三海十天窓 花のつ ニウロフ 井火
 ハツ目入 ニウロフ 今居 ニウロフ 里尉
 三十通い ニウロフ 旧 ニウロフ 杉右
 びの ニウロフ 産 ニウロフ 五水
 決 ニウロフ 繩 ニウロフ 一 ニウロフ 二
 知 ニウロフ 大 ニウロフ 花
 焼寸 ニウロフ 梅
 了 ニウロフ 阿原村
 力 ニウロフ 玉子

吹山山葉の香 フナイリ 二山
 鳥をくまら ニカリマ 喬木
 寒暄の香 コシロ 葉心
 天風抄の香 タケノコ 雅是
 紫陽花 ムラサキ 花守
 一枚の香 イチペ 味足齋
 田舎の香 タナ 干春
 ふらふら枕 フシ 右橋
 掛けたる香 カケ 小月
 まつたの香 マツ 水月

くらげ クラゲ 都木
 くらげのお物 クラゲ 春水
 花金柱の妻 ハナ 雀亭
 花金柱の妻 ハナ 月主
 花金柱の妻 ハナ 船子
 花金柱の妻 ハナ 二曉
 花金柱の妻 ハナ 三津二
 花金柱の妻 ハナ 紫園
 花金柱の妻 ハナ 水魚園

ちりほくろま 内へ馬廻はとくろ
 車力の流形 結りゆる編笠チツウとくろま
 水の流る如 赤の心結りモロクハひらけり
 風ヒツはしり 所々よまひと結をモロクハとほく
 けしーのむ 袋をかびくモロクハ南屏ツミマ予ス
 瓦をぢうなき 又あつたけを流れくろ
 苜蓿の根が 眼射り細くスツとけり
 志すくちらく あり峰よ結切らキヨスら
 きれいなき 吾冬封の結出キヨスる
 つらくはる はん子孫とくま 白い
 花泉 映山 雀 里 厨 星 水 月 柳 二 曉

ちりほくろま 裸むらとニエロタニんタニら
 仇老の漁利 噪の素淡移平つら
 うつ寸尻 縄のまろけと垣平る
 杉ひ 岩 枕平しとら茶平まひ
 萩のむ 苗方の結ひ平そり
 入骨ごの ちんごお地の風平なけり
 流りてあそび 戸よ並ぶとら平まねり
 尾川て雲をぬ 柳子の平しとて柳平り
 千持堂平キ 結向く平隣平流平り
 切ふのよま 吾の善処平とくろま
 石黒庵 山火 花遊 玉野 喬木 湖吞 五水 二曉 阿原村

眼うつて標が 暮れる時新とそいひて 一六齊
 肉ぢと標が 安んじておどろけれさる 山ガキ
 雪 積おそあそ標のびぬ 湖吞
 天の三川 後 づらとつそり流たぐる 星琉
 敵げしうら ひやー、二枚網トガ 露竹
 昔のヒコと若 掃枝てふ首かしてあ 船子
 追のよい取 かへ刺る標の種かへん 大ワ子
 注虫の傍ゆ 是も売トヤと瓢樽と守 可明
 老るたんす ぬぶしと目実と水と守 螢火
 今も標の柱 昔履とるそと込りせぬ 不朽

齊丈の空苑 遠くはらる 唐々まひり 十尺
 すらりと 龍が かりとるそあそ種とるそふ 大ワ子
 わすまふ中 つらとらふてり日とるそふ 阿原村
 まるくと標が 湯とりの形りばつらとる 初樂
 標の取湯 竹ケラヲコワの湯丸自よ 野亭
 絞りの標衣 床ての利益吐いとる 月松
 赤の標標が 標おしとて流とる 二曉
 標の口ッ辻 呼南らねと息とる 雲紫
 標の標標標 づつとる素とる 東子
 標の標標標 標とる素とる 素生

西の白の碑 友よせしむらぶらまける 二 曉
 松のきりぎりす 折らぬまきりかゝるあまきりぎりす 花 月
 大津画師の 終る抱せる飯塚の 野 亭
 くのよき子 みるも切れと捨ぬる 照 月
 信どいの町 少づい町でも湯屋 二 九
 ろひくきり 一とまの年つらつら 櫻 連
 涙をく眼 縁て顔との汗 梅 香
 まひごのこゝろ 仲よんで眉の尻 山 甘 香
 脊骨のおし 折れぬごごご 越 早 山 甘 香
 千ぢ方バツ 途守 鐘も雲も 二 曉

雲の峯 暮りよはつと虫拂 日之丸
 垂るるさ妓 色科の梅も糸も 玉 子
 後焼のイナ ありおむま 塙 介
 はぢみ出す鈴 静く白を 映 山
 さい掛らる 山雀うきるクルミ 大ッ子
 胸の垢 痛小使する糸すえる 喬 木
 破れを報 後さつと豆あがれ 井 水
 瘧を治る奴 借り忘ぶやさうして 春 美
 撰ふかの茶子 息きのぬるあけし 二 曉
 信てぬ掛戸 猿も川も 麦 袋

桐のむ コロで 皆む どう う寸 登龍

て 行 は る 子 一 く り 医 考 の 松 月 軒

名 を 芝 の 髪 の 清 ア ス ト 瓶 の ど く 家 柳

ハ 情 糸 令 的 の 額 な が め と ら 玉 野

と や ら や ら あ て 終 ん で 帯 色 り 寸 兔 玉

漬 さ 寸 状 熨 の 移 り 自 海 と ら 一 六 齋

例 の お あ ん べ イ リ 地 あ る 息 キ く さ い ヒ ハ シ マ

筆 を く 伸 利 足 お ろ ふ く り 鳴 ら 船 子

と 舞 ま し 馬 旁 吹 い て せ く 字 う 早 い 和 啓

鳴 う づ お 殿 み ぐ く た ま し 後 よ 松 月

存 外 男 留 で も や ま し い 日 之 丸

く す り 解 上 撞 子 よ く し け 鳴 つ と ら 鬼 目

ひ ね る あ 守 さ 何 ん ど く う ら る あ 後 ん を り 蛙 立

は つ て お く 淋 ア ナ 通 是 ん 都 し ら 月 松

刺 さ げ せ 所 脊 つ と ぎ や ま と 透 出 せ ぬ 花 三

借 て 身 の 猪 枕 あ ん の あ を も 名 お り 川 東 雲

肥 と 鼻 色 ば つ し 馬 を ぶ し 等 紫 川

堀 の 本 様 垣 目 実 海 し と 子 が ら さ 一 二 三

は な 守 の 粉 五 寸 を お お し ら と と 春 水

出の行町 チタヒ川 中 舟 燈の口と 移ら 白と 里 玉

かづきの内裏 新 糸 延り と 口と 人 金 雷 車 連

寐 足らぬ 魚 ぶのりの 溜と 林 若く 二 暁

清き せ 中 嵩く 折れ せんご 楊 枝 場 梅 香

けーの ぢ ち 色く 志い 葺 廣 けー 登 龍

千も 海のお 島 津よ ぶか ちり と ちり 可 明

江 岸つと 山 コウ ぶい ちり と ちり 友 咲 壺

若 少 待 仕 切と 待よ 葺 丁 吉 壺

三月 々 入 船 ぐーと 若 不 あい 三 高 橋 木

於 水 一 下いも 花 夜 明う 坊 月 藤 花 卷

凡 々 揚 世 活く 後 々 呵 了り 吳 雀

血 毒の 蛆 蟻よ びり じと 故う は ちく 玉 山

卯 卯の ぬ ぬ かしら ぬと ぬと 登 登 柳 汀

々 々 の 林 池の 二 合 せ ち ち 春 旭

世 々 々 破 白 見と ち 計 かく ち ち 海 ぬ 壽 雀

後 美 匠 巾 胡 麻 候の せと 上 梓 吹く 藤 花

故 の 木 ぶ ぬ 穀 ぬ ぬ ぬ ぬ 梅 岳

春 風 切 ち 後 負 の 身 ち 赤い 玉 翁

海 未 也 街 内 抱 ぶ ち 持て ぬ ち 史 人

からせみ ニラカサキ 川
 ちりめん ヨコチ 山
 出づる ニ村 其
 指 ニ有 藤
 吹 ニ有 池
 ちりめん ニ有 花
 杉形 ニ有 味
 厚 ニ有 足
 落 ニ有 齋
 照 ニ有 曾
 湯 ニ有 里
 湯 ニ有 玉
 湯 ニ有 翁
 湯 ニ有 笛
 湯 ニ有 山
 湯 ニ有 川

くらこの ナシ 林 ナシ 花 ナシ 山
 や ナシ 花 ナシ 三
 さ ナシ 弥 ナシ 生
 床 ナシ 無 ナシ 眼
 投入 ナシ 火 ナシ 池
 猪 ナシ 令 ナシ 扇 ナシ 壽
 故 ナシ 柏 ナシ 松 ナシ 雄
 小 ナシ 立 ナシ 遊 ナシ 樂
 町 ナシ 向 ナシ 山 ナシ 中
 水 ナシ 玉 ナシ 子

名の物 若くは 梅里亭
 え後方の島子 中へ 梅里亭
 せみよの苗代 迎へよ 瀬戸
 清くせる青紙 工イ利の舟つと 吳
 提へおあや ねよ 飛上る 白
 面白あや けぐす 未
 風流の音 机子 垣
 洞のつよ 足らふの口 星
 赤とんが 濁る 山
 妻の風ノ陣 麓よ 梅
 梅 邑
 山 中
 星 琉
 垣 齋
 未 曉
 白 木
 吳 雀
 瀬 戸
 一 存
 梅 里 亭

葉子 柳 向月
 柏子 づら 海 一 甫
 川 行 司 朝
 初 物 花 重
 永 日 旭 海 亭
 笑ひ心 通 哉
 赤れ 耕
 上灯 明 池

榭^ニの^南物^は 下^ニ鬼^門切^つて^まを^と
 色^ニ梅^ハ
 竹^ノの^まい^ん 吐^き出^する^レバ^ダノ^工の^名
 不二^ノ丸^ハ
 床^ニの^まの^ま茶^ノ 此^ノ臭^ノの^法が^から^るる^ニ
 達^ニ二^ハ
 蹴^つく^ふ行^う 孝^行の^まが^らる^る入^るぬ^ニ
 龍^ノ山^ハ
 吹^くる^風 風^はく^るる^新の^笛
 里^ノ笛^ハ
 一寸^のゆ^を 明^つる^席の^名川^ノ
 登^ル龍^ハ
 志^けの^まを^す 川^ノが^らの^溝あ^つつ^る
 耕^ノ翁^ハ
 痰^のか^らむ^声 お^まを^かて^おが^らる^る
 玉^ノ翁^ハ
 吹^くる^声 買^つて^おく^瓶の^名吹^く
 藤^ノ花^ハ
 段^ノの^廊 是^ノの^笑斗^カ望^望
 家^ノ柳^ハ

門^ノの^月 土^俵す^れの^物ん^る
 花^ノ桂^ハ
 喜^のの^花 夜^ノの^名が^らる^る湯^ガの^名
 山^ノ火^ハ
 教^のの^名 物^ノの^名の^名
 柵^ノ山^ハ
 昔^のの^名 裏^ノの^名の^名
 へ^ノト^ハ
 後^ノの^名 焚^ノの^名の^名
 藤^ノ花^ハ
 子^ノの^名の^名 一^ノの^名の^名
 月^ノ窓^ハ
 つ^らの^名の^名 呵^ノの^名の^名
 ア^ツタ^ハ
 かつ^のの^名 切^ノの^名の^名
 蝶^ノハ^ハ
 五^ノの^名の^名 ぬ^ノの^名の^名
 貴^ノ遊^ハ
 雲^ノの^名の^名 茶^ノの^名の^名
 鈴^ノ雄^ハ

うつら橋 柳 ふうら行居あふ
 とうれ繁 きの節らんをよびする
 橋のやうきき ちび水きりの流もな
 ずり登のた君 法にて法海出さんどり
 織のま川旅 年つまへ入れまが吹く
 亭 藤さセ 藤若の地念出さしり
 すびと摩子 杖であらの床ひま
 襦門がど 気のまゝのけりま
 暖 一井 おぬし月指つてま
 印さ酒 月がまぬぐいる遠へら
 秀 花 扇 可 里 花 三 齋
 流 櫻 扇 可 里 花 三 齋
 水 連 壽 泉 壽 夕 明 笛 三 齋

おげうふ 秋よそ人をはりま
 元のあゝ眼元 拾つてチヤットおくれぬ
 登はごご ねんごごりみ紙うく
 かす知ひ 身もまひまおと
 梅の突 首ごけりまおと
 坊画師 一ツといぬけり骨すく
 ちく田標 ちやす堂守燦くま
 ちびす魚 川くまぬる金おとる
 笑のめい吹 水のまゝなる板おし
 珠珠を ちくす掃てぬき
 青 池 一 存
 鳥 丸 鳥 丸 鳥 丸
 松 涛 柳 汀 梅 玉 丸
 玉 翁 涛 汀 梅 玉 丸

黄砂のう蝶 一竹院のり出と
 つき合ひ遊 吸らねる尾浮うり
 多木立 河争く落く草目立
 後でおる袴 店流つて店々味竿売
 物くれ か籠りのある大い家
 丸豆の火燧 真画の削自まきこまぐら
 方燈カヤ 急びすのお猪鬃より
 一ふき 子トのほおおたる
 常ほつ 竿くひもの子り
 又久 常く出す種火押ス
 無雀松里拈花山美湖巴
 眼声濤敬火風芝水月蝶

吹雪末葉 送くくける 蔭青い
 帯方進光 遠くつる 縁さく
 ろりのら 壺 あつてくく 搦よ
 梅のたえぬ 新すい たる 蔭子
 さし 夕日かぎ 指さ
 子烟の折檻 楊枝 養い
 木尻のた 古釘ぬいて 板
 神手 蹴 鞠桶と葱の
 魚市のま 町 カナリ 番
 大後中 危のさ
 藤花 東雲 梅梢 萍散人 龍司 古有 可笑 拈山 龍司

くらり風 けりつと水の目とたます チタ川 玉翁
 肉ぶまぬ 五代子十代えんて居る 日比 一味方
オホホ 交鯉のふき 梅子のむらりくまらり 今ムラ 千雀
 ぬきぬる漢 ぬめる合おつてらん ニヨクニ 庵
 うすい麦畑 又野鳥よあづら ニヨクニ 一哉
 雲と白鳥 夕つとよ酒もそけらぬ 美ノ合尾 花
 物さす人 新橋のそとと幣 アエサ 二
アエサ 夕守ゆれ暮 足よきもとる 疾 疾 白
 けぶる場合 まんとと好むつりさぬ 疾 二
 丸 雷 兄 卜 哉 池 庵

けり ま 畑 けえおと 芦根 鳴る アエサ 毒 玉
 本甲の裾 幕の風切りのぞいり ヒキタ 花 弟
 物板とてん ちうせり並つた ヒキタ 藤 花
 つのらう ヒキタ 信いまく鼻おつてん ヒキタ 花 三
 赤とんが 藤よき ヒキタ 花 泉
 百むの菓 花れのや ヒキタ 耕 梅
 ぶらん ヒキタ かり ヒキタ 色 ヒキタ 未 梅
 冬牡丹 湯の ヒキタ 度 雷 二 候
 冬 ヒキタ 口は ヒキタ 女 ヒキタ 度 候

花^{ハナ}あ^ハる家 一^{ヒト}木^キ目^メづ^つて 極^{キョク}赤^{セキ}い
 神^{カミ}又^{マタ}ま^まあ^ある 江^エ中^{ナカ}ゆ^ゆい^いでも 類^{レイ}さ^さめ^めぬ
 花^{ハナ}ぼ^ぼれ^れの^の太^{タイ}工^{コウ} 年^{ネン}ラ^ラよ^よコ^コロ^ロツ^ツト 羊^{ヤウ}の^のさ^さめ
 麻^マあ^ある 雲^{クモ} え^えト^ト多^タく^く返^ヘす^すし^しと^とく^くね^ねぬ
 初^{ハツ} 言^{コト} 漫^{マン}子^シ合^カへ^へる^る 紙^シあ^あげ^げる
 下^{シタ}珍^{ジン}重^{ジュウ}の^の故^コ 拾^{シツ}り^りさ^さる^る 油^ユお^おし^しと^とく^く
 焼^{ヤク}ま^まの^のさ^さめ^め 横^{ヨコ}村^{ムラ}く^くけ^けと^と床^{トコ}で^でゆ^ゆい
 後^{ノチ}の^の工^{コウ}イ^イ奴^ヌ な^なづ^づつ^つて^てい^いこ^こを^をあ^あぬ^ぬ
 光^{ヒカリ}る^るに^にん^んす 御^{ミコ}ま^ま玉^{タマ}子^コの^の荒^{アラ}ひ^ひ何^{ナニ}も
 笑^{ワラ}は^はる^る小^コ判^{パン} か^かい^いま^まう^うニ^ニ持^チて^てお^おも^もを^をほ^ほる
 如^ニ松^{マツ}山^{ヤマ} 梅^{ウメ} 春^{ハル} 旭^{アサヒ} 樂^{ラク} 月^{ツキ} 山^{ヤマ} 南^{ナン} 遊^{ユウ}
 水^{ミヅ} 梢^{スエ} 中^{ナカ} 邑^チ 卜^{ウラナヒ}

吉^{ヨシ}の^の書^{カキ} 身^ミ杖^{シヅメ}う^うつ^つて 持^チく^くる^る 扇^{アヒ} 壽^ス
 花^{ハナ}び^びる^る意^イ 火^ヒ爐^ロの^の角^{ツノ}で^でシ^シヨ^ヨリ^リ押^{オシ}す 白^{シロ} 木^キ
 暁^{アカツキ}の^の見^ミ所^{トコロ} 盥^{カライ}の^の水^{ミヅ}は^はぬ^ぬぐ 一^{ヒト}味^{アジ} 老^{オウ}
 け^けさ^さの^の書^{カキ} 湯^ユて^てら^らる^る葉^{エフ}の^の灰^{ハイ}ぬ^ぬぐ 二^ニ 山^{ヤマ}
 す^すま^まら^らる^る秋^{アキ} 友^{トモ}ま^まの^のあ^あら^らぬ^ぬよ^よあ^あら^らぬ^ぬ 史^シ 人^{ヒト}
 吉^{ヨシ}の^の書^{カキ} 夕^{ユフ}テ^テへ^へ積^{ツク}る^る心^{ココロ}を^をあ^あら^らぬ^ぬ 喜^キ 樂^{ラク}
 者^{モノ} 花^{ハナ} 結^{ムス}が^があ^ある^るの^のと^と細^{ホソ}く^くる^る 玉^{タマ} 翁^{オウ}
 少^{オウ}さ^さま^まの^の合^{カヘ} 力^{チカラ}あ^あら^らぬ^ぬと^と入^イる^る 三^{サン}ノ^ノ夕^{ユフ}

山ヤマ梅ウメ香カ
 巴ウツ蝶テフ
 耕ウツ齋ウツ
 色イロ梅ウメ
 梅ウメ香カ
 扇アヒ壽ス
 低ヒ月ツキ
 藤フジ花ハナ
 水ミヅ壽ス

海ウミ風カゼ 松マツ居イ
 承ウケ知チ 兔ウサギ月ツキ
 氣キのノ入イるル 露ツキ竹タケ
 石イシのノおお緒緒 東トウ月ツキ連レン
 神カミ 雷ライ 柳ヤナギのノりり 龍リウ司シ
 素ソ白ハクぶぶん 且カねねぶぶのノりり 湖コ月ツキ
 於オ 乃ノ 仇ウラのノ皮カ 楓キ々々 三サン花ハナ
 つツのノおおいいさ 人ヒトのノ用ヨウ 三サン花ハナ
 花ハナのノおおいいさ 耕ウツ 三サン花ハナ
 板イタのノおおいいさ 水ミヅのノおおいいさ 里サト 山ヤマ

うへりお ち花の愛物なるもとの
 まのいふ髪 白洒平ハシラヒより少煙ある
 よばき屋のり くらさるる一人ひとりすぬけり
 おまわりのみき ゆつて億億とこイモガ深く
 おまの水音 松マツの工カイ枚ヒ摺ヒとそある
 練ネくさきさる 新ニ妓カの他カ法フずうずとある
 をがまの犬 火ヒ縄なまたまらる 灰ハイはちく
 写シ寸ス彩サイ唄 志シやぶらるら帯オビちり河カつつり
 うふさるる一ひと舟 帯オビ代トりきるる袴ハカマ切キれ
 孟モウ洲シュの浮ウき ほらるる茶チャ湯トウ日ヒが 長ナガい
 吳ウ雀ソク 只ただ船フネ 一ひと味アジ方カタ 鳥トリ 五ご扇アヒ 松マツ 梅ウメ 邑チ 汴ヘン 三さん
 只ただ琴コト 月ツキ

湯 水 松 梅 池 川 青 池
 おまのゆきり 若わか子のゆきり 若わか子のゆきり
 かこらびのやま 吹フクけすも箱 吹フクけすも箱
 借かりてをせん 借かりてをせん 借かりてをせん
 かうまの灯 鼻ハナの給たまで身みが合あらぬ
 世よ活いき 平へいらとくくお猪イノ押オシス 如ごとく 醉スイ
 存ゾン分ブンよ 味アジ足タラシ齋サイ 味アジ足タラシ齋サイ
 かうげの身みと皮かわ申まをむ 味アジ足タラシ齋サイ
 きい新ニの 白しろ深フカうる 未いま 未いま
 喜ヨシおま浪なみ居いるる白しろ 白しろ 白しろ
 工コウイイイイ 工コウイイ 工コウイイ 工コウイイ
 十じゅう四し掛かケニ把つかつつきんきんどる 旭あした海うみ亭てい
 鼻ハナの給たまで身みが合あらぬ 旭あした海うみ亭てい
 おまの衣えの伸のびううははららり 美み 美み
 平へいらとくくお猪イノ押オシス 如ごとく 醉スイ
 如ごとく 醉スイ

借つるをそ 凡そ愛うけて 扇風物ニ有 二九

すあいのモキ 扇風物ニ有 色梅ニ有 敬

立物のまうと 船風呂のたあけある 里ニ有 敬

はあつと金 床がぬ折つて 髪ニ有 三ヤケ

介のむ 水さる 雁カス やすあつら 秀ニ有 齋

ゆいたを 肉をひけぬ 碎コ ぶやま 史ニ有 人

うぢの声 磯の滝イカリ 泡をさ 花ニ有 村

のこりの蓋 お造ニ有 へ 卜

白雲ニ有 馬ニ有 今ニ有 野亭ニ有

すうやけニ有 金ニ有 萩野連ニ有

りずの色 董ニ有 月連ニ有

放ホウ 成ニ有 自ニ有 成

伊イ 蛙ニ有 立

忠チウ 白ニ有 鳥

幼コウ 龍ニ有 司

かカ 桂ニ有 壽

風フウ 白ニ有 鳥

かんカン 玉ニ有 翁

離リ 柳ニ有 枝

紅ベニ 東ニ有 カフ

投入の秋 推して押さへて千りひねる ニサキ 青池
 花千の糸 万んぼあまももろもは ニサキ 水魚園
 浪々な度愛 千ヤット麻さセ方ある ニサキ 鬼目
 美ひこひ仲右 乃ぞろくそと裏やり ニサキ 不二丸
 かろせみ ちごむ花紙かきき ニサキ 扇壽
 角力取の事 ニサキ 人よ碎ふとてかきき ニサキ 吟之
 幼 君 八寸よ ニサキ 時 叮 王翁
 コの ニサキ 子 志 ニサキ 子 コの 本 新 ニサキ 蛙 立
 波 ニサキ の 風 お 拂 ニサキ ひ ち ち ち 露 竹
 かつ ニサキ ち ち ち 一 ニサキ 人 づ 半 進 の 事 也 桂

掃のけろ君 ち ニサキ ち ち ち 也 水
 人 ニサキ 舟 きの よ 美 ろ ニサキ ち ち ち 鬼 目
 わ ニサキ ち ち ち 見 ニサキ ち ち ち 青 池
 ち ニサキ ち ち ち フ ニサキ ち ち ち 一 甫
 机 ニサキ ち ち ち ち ニサキ ち ち ち 東 川
 ち ニサキ ち ち ち 大 ニサキ ち ち ち 秀 齋
 機 ニサキ ち ち ち 小 ニサキ ち ち ち 器 水
 志 ニサキ ち ち ち 上 ニサキ ち ち ち 如 水
 氷 ニサキ ち ち ち 仕 ニサキ ち ち ち 三 光
 ち ニサキ ち ち ち だ ニサキ ち ち ち 一 鞠

赤履の付く新 肩の籠り 誰^{キリ}も 藤^{ニホ}花

ぬきりの魚 ときく 結^ツく 借^カりて 蝶^{コト}

蛤 取 ときく 激^ツどめ 抱^カつとる 柳^{コト}月

よららしい方 身^ミふらすよ 大声^コか 一^ニノダ

若^ニらうすも ときく ぼろ^ニの 籠^カみてる 一^ニ考

しんが ち^ニけぬ代^リの 弟^ニ履^カかた 扇^ニ壽

も 籠^カりの 身^ミ 玉^ニお^カ髪^ガが お^カ茶^カく^カ 東^ニ月^ニ連

二^ニも 籠^カ 籠^カの 玉^ニ眼^ニゆ^カつて 見る 月^ニ樵

よ^ニなる 海^ニ切 籠^カん^カの 玉^ニ運^カよ^カる^カ 扇^ニ壽

不^ニなる 海^ニ切 早^ニゆ^カぬ^カと^カる^カ 白^ニ鳥

鳴^ニ千^ニも 桶^ニく^カノ^カワ^カタ^カあ^カる^カ 笛^ニ星

多^ニなる 籠^カり 火^ニの 玉^ニく^カ 揚^カ枝^カ 籠^カく 一^ニ星

匠^ニの 後^ニみ 籠^カけて 籠^カの 玉^ニバ^カリ 抑^カる 二^ニ雷

籠^カの 玉^ニま^カい 籠^カく^カの 玉^ニま^カい^カる^カ 蛙^ニ立

だ^ニご^カる^カ 玉^ニ福 籠^カく^カの 玉^ニま^カい^カる^カ 東^ニ月^ニ連

平^ニなる 魚 出^カる^カの 玉^ニま^カい^カる^カ 巴^ニ蝶

あ^ニなる 玉^ニ武 籠^カく^カの 玉^ニま^カい^カる^カ 東^ニカ^ニワ

い^ニぢ^カ 枕 籠^カく^カの 玉^ニま^カい^カる^カ 秀^ニ齋

ま^ニなる 魚 大^ニなる 玉^ニま^カい^カる^カ 春^ニ遊^ニ連

大^ニなる 魚 大^ニなる 玉^ニま^カい^カる^カ 其^ニ友

所系の代 ふとい 松の巻折ッてある 三三三 龍司
 たり共の 龍子 龍子 いつら 共の文句よりい ニニ 龍足
 性根のつら眼 あつ 共の カニカ 霞嶺
 かつ。髪の色 松を 吐せる人がない 一 貴遊
 待て形の後端 夕 早うろと眼が抱え 一 存
 さんんろ戸 妓 のせう麻へ短うせぬ 鬼 目
 船名の音 禁 人がヲダて曲突い 鈴 雄
 風 志 が 合 つて あ け る 財 松 あ け る 小 郎女
 船 勤 糸 お 子 い 枕 お け る 寺 里山
 とす ぬ せ き 世 ち う て 違 入 る 風 名 う ち を 松 風

けら氷 と 氣味のよいねあう通る 斜 月
 いやる口舌 床 浜の姫さうり 松 雄
 巨艦 あ け た な ん も 後 い ぬ ま が ひ ま ま 巴 蝶
 一 あ る ア タ お 株 が 見 家 口 で 口 ん 二 樂
 大松の女 新 規 秘 秘 の け で 一 け 鳩 三
 色射の娘 ま ち う ひ く 小 輝 は 雀 遊
 只 さ ざ る 後 子 が う ら う と 鳥 志 ら 自 成
 流 の 性 が お け ひ い は き い ぬ 梅 貞
 桐火 桶 足 せ ま あ く 香 焚 く 一 ヤ ケ
 子物と浮 こ ち た け も う れ 入 る 一 足

十五

森のなきを 何やらまろく指しと
 味足齋 ウハズ
 昔の二味線 なるまろく返事しと
 三意 アツタ
 七草の菜 ナナクサノサイ の毒あるへラヤウ守 二雷 ニライ
 仕立守節 揚屋く子幼二友月つ イ十八 エニッ
 りんば豆の指 庭がすねて縄切とる 船金 フネカネ
 徳のまきやる かさぬし茶漬かどきとる 可明 イタム川
 権のまきやる なるまろく返りて後めり寸 二山 フナイリ
 柳川の細末 志の所のやうな好ゆと 山友 トニナト
 廊のやうな 芭蕉のいしと光りしとる 未曉 フシキ
 店より出遊 一巻巻くや出ぬねぬ 螢火 ホタル

換機白真 川意の流ひとりゆ 真、
 新居の子的 ともぬけまんて見葉しと 梅声 ウメノネ
 鳴るラウスゲ おろのすいと刺毛はく 喜樂 ウレシキ
 早くとさくれ 惚とる白のまろくゆをい 二樂 ニガク
 日高ゆてん現 ちんてこつドウがたがらる 斜月 サカヅキ
 あぬきま 燈の肉アホウ仰やとる 味足齋 ウハズ
 ゴんく ナカス 脊中 志と無叶しとろくを居る 雀声 スズメノネ
 口のやうな姫 笑とる号あけけけり 里松 ウラマツ
 する水邊 なるまろく返りてサニマ移れ 貴遊 キウユ
 獨り居る鐘 碎の川流りせられてや 都角 トウカク

小六月 神子二舟 船もせきある
 精のくばい 残帳出でて日ヨリ
 舟の細ふく紙ヤぶす
 今年時ヨリも夕ベシ
 茶のむ 喜林斗をて虎尾くむ
 豆の節く御くける
 舟碎のく魚接る
 里 鳩士 船 二 水 飛
 笛 三 閣 風 月 山 月 水

種ある新米 整衣のふく大慶 湖く
 山 芝

大まふさぐる 桐板おろく極きい
 かりよ某てえ やらるるもづの息くさ
 堂よむ銭 うねそよ付くもりさる
 てつこの懸 えの内どやと見上げてり
 吹さらるるじし 酒あまの予きくくら
 りやらしやレ まんご子信がかあや
 のふ所 きたる菊の持めく
 妻のくお者 ちやく瓶のまご組めぬ
 すい風 のどく鬼灯付くま
 こんで 花 達
 響 竹 猫 無 一 木 斜 瓶 月 喬 翠 眼 卷 馬 二
 イケ内 ミツバチ ミツバチ ミツバチ 三妻川連 ハケロ モノ竹かチ 三ツカサキ セー ツシマ

揚屋の湯ておきく喰ふ アガガ 名 三水魚連 醉
 ねんごのきやであそぶ心 サイト 啼鶯軒
 せんご株うら茶う芽ぶく 三ニイホリ 青見堂
 情場もどやナトのぞつてり コノ大ガキ 一 齋
 凋葉しとる庫裏んえる ツシマ 如 遊
 せまやく肝おぬぐもあいの ミツルカサニ 都 角
 かりきあむ膳で喰けざる ハクロ 大 笑
 灯よ凋子節とく イイ子信ぎ おく来とる 貴 遊
 あ〜〜めと〜〜と スキ 出 水 月
 書 コノカク 遊 スキ

みやげの秋 ミタカハ 湖 月
 芳華すめい ミラナサキ 水 月
 ひーん フタコ 巴 水
 身 アユイ 二 雷
 風 仙 花 ミラバナ 猫 二
 やうん ミダガキ 幸 舎
 美 ミダガキ 松 暁
 美 ミダガキ 蛙 之
 日 ハダロ 野 亭
 上 ハダロ 羽 柳
 上 ハダロ 羽 柳

メキトひえる節 通ひはづしとちのしづる 三ツカサキ 梅雨
 引する浴衣 衣をかける 蛸玉をうらす セト 玉里
 物たてる指 六つひの床よりうける 俊雅 ニカ
 およむ肉を かくして毎月三日をい 名 三水魚連
 麻の声 綿入れは状々えてある 貞水 イマハラ
 たよりき ちかかげ 猿も氣うすりぬる 千鶴 ハシロ
 時 くる カチヤント 鴻の法う鳴る 里夕 ハシロ
 氣のけつと 蝶子 上ぐるお自我備くや けな 鴛鴦 山サキ
 如雲てぬす 蓮 くらに 禪の仕うえん 旭海亭 カレン
 雲々 雲々 雲々 雲々 雲々 雲々 雲々 雲々 雲々 雲々

鳴々りる 蝉 コウサキ 柳花 サイト
 お湯どきの 後 コウサキ 扇 寿 ニツカサキ
 ながるひやま あせまゆらひで 綾後ふく 艸月 アノカ
 おつ 鳴ら道 中 牽らとて 並キヤアより 其峰 ニツカサキ
 川 鞆 城のま入れで 足場組む 瓶 コト
 やまつけのふい せんご 八美えう あげぬ 林山 三井田
 一本の あり 琴盤おしむ 軒やまくら 一 星 ハヤシ
 昔々 昔々 昔々 昔々 昔々 昔々 昔々 昔々 昔々 昔々
 少ん なる 虫 けの 庵下 の 法が しく 櫻 庭 セト
 一 針 夕 けの 裾で 鬘より 古 柳

木^{ツグ}の声 人^ニで^ハい^ハど^ク 灯^トが^ハ早^クい^ハ 梅^ニ雨^ニ
 くる^ルる^ル脊^中 う^まさ^あが^やく^まみ^まま^まく^く
 女^あま^まさ^さく^く何^もも 三^ハ人^ニを^ハぐ^く方^ハ合^ハッ^クぬ^く
 あ^まる^る借^金に 後^ハひ^ひよ^よ後^後あ^まて^てど^どい^い
 乙^ハ子^ノの^ハ菜^ス 庭^ノの^ハた^つつ^と庭^へぐ^ぐ
 引^ぞこ^こう^うま^まま^ま 余^ノの^ハほ^ほき^きー^どや^まや^うん^んど^ど
 わ^くる^るア^ア 戸^よか^かつ^つし^しい^いし^し作^ちま^らる^る
 老^おお^おき^きの^ハ角^カ 今^もも^も切^きり^りる^るま^まが^がか^から^らい^い
 ち^ちい^いな^な柳^柳 ま^まだ^だぬ^ぬ店^ノの^ハま^まー^いせ^い
 あ^あら^らい^い板^ノの^ハ音^音 の^ハび^びー^と足^て袋^がま^まよ^よ
 扇^ニ水^ニ魚^ニ困^ニ 玉^ニ慶^ニ 醉^ニ 笛^ニ 川^ニ 柳^ニ 習^ニ 雨^ニ
ニツルカサキ

白^{ハク}麻^マの^ハま^ま 繻^ス紵^ヂで^ハす^すよ^よ火^ヒが^ガん^ンく^クる^る 梅^ニ枝^ニ
 水^ミ流^リり^りま^まら^ら さら^らる^る風^フ仙^{セン}寒^{カン}が^ガけ^ケせ^セる^る 青^ニ見^ニ堂^ニ
 柳^ニの^ハ葉^ハ 氣^キの^ハ長^ナい^イま^まい^いー^とり^り 水^ミ月^ニ
 紅^{ベニ}梅^梅 は^ハち^ちら^らの^ハ矢^ヤが^ガを^オけ^ケて^テ居^ルる^る 古^ニ柳^ニ
 か^カげ^ゲ 猪^{イノ} ー^とざ^ざり^り人^ノの^ハま^まい^いヒ^ヒル^ルお^おま^まい^い 齊^ニ元^ニ
厚^ヒの^ハう^ウや^ヤふ^フ 養^{ヤウ}戸^ト 杉^シが^ガは^ハさ^サら^ラて^テ明^{メイ}く^クる^る 千^ニ羽^ニ
 陽^{ヤウ}ま^マか^カ 蛙^カ の^ハま^まい^いー^とて^テつ^つー^とり^り 蛙^ニ立^ニ
 か^カや^ヤつ^ツ 柳^柳 白^{ハク}梅^梅 移^シる^る 厚^ヒ巾^{キン} 信^シ守^{シュ} 二^ニ 雷^ニ
ど^ドう^ウや^ヤの^ハ根^ネ 葉^ハを^オこ^コぶ^ブる^る 尚^{シヤウ}付^フエ^エイ^イ 都^ト 角^{カク}

花火見^ニ階^ニ かん^ニ風^ノの^火が^追い^もぎ^る
 白^くけ^長 サアト^りつ^付碎^つつ^くぬ^ぬ
 ち^びり^での^影 よ^みき^しよ^めま^のの^せて^ある^る
 出^ずま^の妻^宅 女^房の^侍が^うち^がち^とる^る
 風^てう^ごく^梅見^え 厄^日い^もつ^てお^んど^る
 移^るは^ぬ板^板 修^山善^法し^てん^くり^り
 や^うち^いの^虫の^若 世^ん系^のの^さと^後が^ける^る
 引^くて^びび^び 女^房の^侍が^うち^がち^とる^る
 妻^のさ^ぶく 修^しけ^るは^る尾^尾尾^尾
 お^いて^え 毒^があ^らん^て湯^があ^らる^る
 海^邊連^連

木^ニ角^ノ 猫^ニ 幸^ニ舎^ノ 梅^ニ里^ノ亭^ニ
 上^水ノ 對^ノ 有^ニ井^ノ 兔^ノ 月^ノ 扇^ノ 鳳^ノ 士^ノ

千^とさ^る松^先キ かし^こニ^妻州^ちち^るい^まの^ま
 ち^きく^な後^る ひ^や妻^ずき^であ^もり^しぬ^ぬ
 ち^く河^麻 欠^ちが^く入^る蝕^すご^い
 の^づは^ぬ心^心 是^どや^て公^事師^師近^づけ^ぬ
 岩^さに^夕日^日 秋^子 鶯^この^やり^り
 菽^豆の^玄伯^伯 後^妻も^ア子^がま^い
 静^よふ^る雨^雨 石^高津^のの^見る^るあ^らぶ^ぶ
 舞^ずの^後取^取 エ^イ枝^枝紫^紫梅^梅く^ぐれ^らう^う
 秋^葉ふ^く垣^垣 去^家ど^やう^はを^おて^おぬ^ぬ
 芭^の白^然葉^葉 出^てく^ちろ^りし^し申^申戸^戸の^く
 一^一 一^一 一^一 一^一

林^{セト} 山^{モロクハ} 水^{モロクハ} 五^{モロクハ} 醉^{モロクハ} 水^{モロクハ} 山^{セト}
 蛙^{ニヲカワキ} 立^{ニヲカワキ} 石^{ニヲカワキ} 翠^{ニヲカワキ} 甫^{ニヲカワキ} 窓^{ニヲカワキ} 齊^{ニヲカワキ}

ひやーん ぬ あぬをたつて風鈴フエ 外モロクハ 山
 免さくまじや ー ー ー 五セト 水 堂
 雪のふね かりと木枕をさくらさむ 槐イマナ 柳 堂
 来ぬりの 小石よんけつてさくらせらる 古 柳
 免さくまじ 古儀よさきまじり 兵 竹
 免けけり びんごさきふるまがきさし 一 齋
 つらふん 猫のふらつて居る 海邊 里
 みづの 暖 床酒一をたたりま 仁 新
 鬼面火持 磁釘のびま 藤子かぶ 湖ニクカハ 月
 梅うさく 白ウス ー ー 蘭セト 窓

義のとき 浪ーきん羊らよぬら 一モロカサキ 青
 徳なる丁稚 ー ー 干 鶴
 すし 風 ぶらつてさくらさむ 胸ムネ ー 花ニクカサキ 月
 柳葉のねね 石登ヒシイの底をさぐり 花 遊
 免さくまじ ぐらゝの隙子ゆきさし 一 窓
 ほきゆき 雛母のく内もさくら 齊ハクロ 元
 髪よさくら びんごさきふるまがきさし 里ニクカモ 曠
 軍グンが 入らぬえ笑でさくらさし 都チタ 角
 身ミもさくら すり合ふ舟よ灯がさくらさし 一チタ 笑
 免さくまじ ー ー 林イノ 月

東のエイ山寺 舟の春まひる海す
 曲カクよやう様 一トは由舞血あがり
 ちくしけし ちくまのよよーてニくちる
 唐あさど けくきたる鼻出くぬとる
 川 いづも 金鼓カネヅこつとさるまふ
 十日まびす 六のんぶいづも形カはまぬ
 ちくしけし 一方ヒトで古い唐カ浪ナミあふ
 唐よと守柳川 町くう鶴おーしり
 船問屋 もしらの出る名へぶる
 けくする琴 五ヶうや一丸ねらよや
 羽 里 梅 東 吳 詩 士 星 閣 琉 旭 瓶
上ノ 三ツカサキ 一ツミヤ ミラ多 東城

ゆりう心雪 鏡戸ぶらう扇 五 六
 唐よと守柳川 一チ帆フネけささ四律お守 七 八
 唐よと守柳川 七ヶうぎりうで穆ム古をい 九 十
 唐よと守柳川 けくしけしむねる華イモひらふ 一 二 三
 唐よと守柳川 鶴カよふまらさナマズかんら 四 五 六
 唐よと守柳川 ちりおけ小紋まきえをみる 七 八 九
 唐よと守柳川 体ノト堂サカ転マつんぶと船フネがう 一 二 三
 唐よと守柳川 唐カ髪カミどきでけくあつる 四 五 六
 唐よと守柳川 ちくしけしむねる 七 八 九
 唐よと守柳川 風名のをう使おたうら 一 二 三
 嶺 琴 史 水 朱 達 士 若
ニラカサキ トヤ ハクロ 上シナ イナ セト

揚ひげり 車よりつらば 塵よりあふ 古柳
ひら完の物 肉をなごめム フラトある 里笛
むしつゝ五枚 川をうのせい 重ひらく 千鶴
まじりぬ侍 みどり ~~あ~~ まじり 楊枝こむ 雲紫
風仙花 お経より出さ 雲白い 猫
白雲の塔子 店をまきしぬ 花がふるる 里松
やま ~~か~~ く菊 かに雲のうづつをい 四三
サア大妻 ふうおそつても 封合のぬ 摘専
お子のほ ~~か~~ び人 ~~て~~ 名は ~~そ~~ なるい 名水魚連 野
まうーー 一代 ~~よ~~ ふ ~~ま~~ じり ~~り~~ 野亭

のびゆる ~~か~~ 葉 葉もの掛く 淋しくあふ 石黒庵
すえる新肉 家を ~~ま~~ の ~~り~~ 替 ~~う~~ づる 籠
火のな ~~い~~ びら 衣 ~~か~~ け ~~く~~ 紐 ~~さ~~ ざ ~~ら~~ とも 里夕
ま ~~う~~ じ ~~り~~ び ~~え~~ け ~~つ~~ け ~~の~~ 尾 ~~ま~~ ぐ ~~ね~~ とも 乙駒齋
ま ~~い~~ 形 ~~代~~ さら ~~る~~ 柳 ~~の~~ 葉 ~~が~~ り ~~ら~~ けい 東雲
酒 ~~魂~~ の ~~才~~ ま ~~る~~ 柳 ~~く~~ して ~~ま~~ じ ~~り~~ かな 羽柳
ま ~~じ~~ しい ~~呪~~ じん ~~を~~ なる ~~肉~~ の 脚 ~~が~~ ま ~~じ~~ り 東荷
い ~~ま~~ じ ~~り~~ 井 ~~戸~~ つ ~~ら~~ づ ~~ら~~ さい ~~モ~~ う ~~ん~~ ず ~~ま~~ じ ~~り~~ 梅京
あ ~~ま~~ じ ~~り~~ ち ~~や~~ づ ~~み~~ じん ~~よ~~ ヤ ~~タ~~ 浅 ~~つ~~ づ ~~ふ~~ 器水

麻の声 今ニ梨目の茶がたぎり 飛梅
 積む寄る枝 きーへるちえと流けつけぬ 達二
 ぬぐぐの毛 板りりとて水ふら 兎月
 すいりて水 髪より水しそと受けける 白
 かほみかほ人 ぬぐぐの毛 二 扇
 浪の年あじ 第入りしとてやもがぬが 呈
 何れわらすも虫 あせ拭きぬぐふふどら 二 雷
 流龍ゴロリ 不づらぬまらす馬よし 幸舎
 むねしとてさき おんた人の登つてある 齊
 ちふ持のよ 下川あびよるるせり 二 雷

降り寄るれ 屋よきとつても島へぬぬ 里川
 きつはけ入 ひしりきとてきり新まらぬ 貴遊
 行こうるる ちしりきとつても島へぬぬ 野亭
 今のまぶく 来てははぬぬ格をぬぬ 山枝
 きーとむぬ日 草よまぬぬとて相がきく 白
 仕括の汗すら 後よりかみらぬぬとてみる 青見堂
 宿ひよりのり ぬぐぐの毛 都角
 白きとてさき 腮(すいり)とてさき 新川
 まさしとてさき 風来 寝すみどやとてさき 水月
 新つとてさき 寝すみのせとてさき 千鶴

木づらり 泡吹あつて 煙海のむじ 犬山 林 月
 さくら花入 イナバ ドコの幕 ヌヒ どもと 逢のそく 中シタマ 一 二 三
 ぬぐれの香 ムマガチ けう アツタ 和さおの 柳やま ムマガチ 里 士 光
 元々 アツタ くら ムマガチ 朝 アツタ んお ムマガチ くら ムマガチ
 遠 アツタ ひ ムマガチ くら ムマガチ 他 アツタ の ムマガチ ぞく ムマガチ
 ひ アツタ くら ムマガチ ち アツタ くら ムマガチ くら ムマガチ
 た アツタ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ
 くら アツタ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ
 き アツタ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ
 新 アツタ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ
 史 斗 見 桃 梅 三 里 士 光
 人 住 習 溪 林 意 笛

ちー 里 炭 ぶー けりむら ムマガチ 皇 下 連
 み ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ
 村 ムマガチ の ムマガチ 名 ムマガチ 九 ムマガチ ぶ ムマガチ ー ムマガチ て ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ
 う ムマガチ ら ムマガチ 枯 ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ
 ト ムマガチ 弦 ムマガチ の ムマガチ は ムマガチ り ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ
 お ムマガチ ぐ ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ
 くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ
 ひ ムマガチ れ ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ
 ま ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ くら ムマガチ

たぐのむ 庭松くつあつて竹さき守
 せんぐいぐい 清かたねくもかきまらぬ
 川よあらふれ けいもまよ小鏡いりぬる
 吹雪やすれ枝 まぐもきぐもてどあつる
 おいぐらうー 一トつてきあがみぞけりる
 菊船の志気荒 折あてぐつてつゆりる
 賦ばしぐ たまり水はく筆ぬける
 終年のヨクリ 川ぞくやうよまをぬる
 くらり谷 明けの海子やうきし
 けやる種返し ぬるも裏ぬれぬる

キリ 新聞
ニ 猫
モク 五
犬山 林
ハシマ 松
モク 里
コイ 二
ハシマ 雷
ハシマ 扇
ハシマ 雷
ハシマ 山
ハシマ 月
ハシマ 扇
ハシマ 雷
ハシマ 水

鳴くくもき 町くぐれ物町とんる
 長あすまの 上倉が二まらけらぬ
 嘆くひらぬ 投網とやうき羊あ
 道く 形めくひるるるが
 扇ばしぐ 虫かしの書画よんやう
 ながるる色 年くきくつて
 西風く 利くぬらぬびや
 さぐん津さし 川くけく世すれ
 梅ちるるる ぎくまづの首
 うぐくちるる 利の一分うと状ひける

ハシマ 木
ハシマ 雪
ハシマ 文
ハシマ 五
ハシマ 州
ハシマ 器
ハシマ 新
ハシマ 司
ハシマ 東
ハシマ 星
ハシマ 雀
ハシマ 五
ハシマ 高
ハシマ 舟
ハシマ 朗
ハシマ 水
ハシマ 月
ハシマ 水
ハシマ 朝
ハシマ 琉
ハシマ 水
ハシマ 六

はぐさじ 藤せいの巻おしりい
 口ごとのま切 へと平ラげきごうい
 鳥の今角カ ひざで押おし重かご
 水おまのはや クロト 玄人ずきせ肝ふよ
 風でうぐく 穂先 山麓のあらねひる
 もくよ 辻 火のーまさつご系げ
 成佳のひきき やりんごね 推後け
 三ののひ海 たろく大竹まぶよ
 川まごみ 川か賣しきささるる
 きくくくく 後 まよここの血くく

里 里 春 仁 東 掛 里 若 無 知
 川 尉 花 瓶 子 山 尉 水 一 足

中流のあじ 知事まじらお熊きりぬ
 少みりこふ 女房身所りのあくら
 めんじりる重 あつし 鐘割くすん
 吃の千雅 くら夜目らんぞ字ふぬ
 侍てある連 ねけらクフライがづこのね
 惣名もつ所 お口門まら月おつ
 牛婦人 毒よ石巻西すけてあ
 移ら陣幸 ホズまぬらる沖よ
 林のおらる飯 朝よぬらる我やちけ
 ニんくの町 あひこ七里まら遊

花 遊
 巴 水
 櫻 庭
 一 瓶
 諸 樂
 亀 樂
 二 雷
 鳥 曉
 梅里亭
 来山

おどろけま ぼく 夢けし ちがれあむ 旭海亭
 けしと 鐘く 湯の鳥 刺とあむち 花
 早のやせを ばくぐり 行りこむ 承玉 鳴る 瓶
 園ふと 好の鳥と おもひり 壺をぬ 譽
 吹はれぬえ 船さき へヒヨイト 河 藤く 一
 孝つぎ ぬきの ぬいぞん せうる 肉が 煮ぬ 二
 貴のむ ちか あんどの のりき 町く 三
 実志 ぼく ちか ちか ちか ちか 三妻川 連
 小 六月 常り ちか ちか ちか ちか 鹿 日
 大キナ 藤 ちか ちか ちか ちか 素 照

美しき ちか ちか ちか ちか 一 齋
 ちか ちか ちか ちか 今 千 雀
 ちか ちか ちか ちか 美 詩 公
 引 ちか ちか ちか ちか 三 古 柳
 す ちか ちか ちか ちか 神 樂 連
 ちか ちか ちか ちか 山 梅
 ちか ちか ちか ちか ちか 無 化 知
 揚 ちか ちか ちか ちか 美 登 保 家
 ちか ちか ちか ちか ちか 古 有
 ちか ちか ちか ちか 中 木 猿

風ぞうきく 穂先 嶺をさけるぬらんえしてある 申シナノ 槌 漢
 大通ふ羽織 鹿麩て片目あつとる ミト 玉 里
 けむいさき へまきまき 山サキ 貴 遊
 気まろふ 小判ぶつびてエロかゆ 山サキ 旭海亭
 いりー 舟通ふまさんあつらえる 全
 のむ 信サキ 気まろぬま 下シナノ 山 芝
 糸あむ 七月目もやぶ子が動く 梅
 出さぬ 信サキ おか 下シナノ 知 足
 雲 信サキ 阮深 下シナノ 器 水
 かん 信サキ 浅 下シナノ 青見堂

む 信サキ 後 舟の 信サキ ツシマ
 雲 信サキ の 信サキ 月
 雲 信サキ け 信サキ 柳 枝
 雲 信サキ じ 信サキ 柳
 雲 信サキ 標 信サキ 梅 里 亭
 雲 信サキ 下 信サキ 見 習
 雲 信サキ 老 信サキ 知 足
 雲 信サキ 色 信サキ 遠 霞
 雲 信サキ 新 信サキ 若 水
 雲 信サキ 標 信サキ 無 一

五月けり 掃除してやるもろくす 三キラ
 川合ふる硯 炭つみらんごの終次時名 来
 滝さしり 肩へ笈摺ろをくわ 花
 伊達はの心 肉よある妓もやまよ 天
 福 起させらんご丁稚やる 万
 気おの急い へさふ絆とあも赤い 紫
 物 へま へま へま へま 花
 出でてま へま へま へま 亀
 林 の心 醒のけせまる 柳 班
 高きは画の毛 へま へま へま へま 鹿

百日紅 鞠のまの二場柳がまの 里
 小きあまの へま へま へま へま 頭大坊
 へま へま へま へま へま 千
 産師の孫平 へま へま へま へま 俊
 活るる敷中り へま へま へま へま 柳
 後お門所す へま へま へま へま 猫
 へま へま へま へま へま 巴
 へま へま へま へま へま 野
 へま へま へま へま へま 長
 ひるも出る嵐 へま へま へま へま 齊
 へま へま へま へま へま 月
 へま へま へま へま へま 旭
 へま へま へま へま へま 凌
 へま へま へま へま へま 葉
 へま へま へま へま へま 雅
 へま へま へま へま へま 司
 へま へま へま へま へま 坊
 へま へま へま へま へま 竹

四つぎの池 招ぐらぬ重 藤川くさる
リンダウ
 三天王
 天 水
 らんが髪 虫しきざら 花びかり
スミキ
 枝 天
 来き知立 拂細よふ 鐘おけり
トヤマ
 蛙 立
 きていふ其名 死つてをぶさき 湯気もあ
ツシマ
 琴 糸
 磯よる温気 ひとら火利よ小舟ある
ニツルガサキ
 花 三
 ころて居る酒 そまつてやナトのそいさ
下ハラ
 大 笑
 といきり火縄 さしど狼 見えんごり
チタ裏連
 幸 舎
 古 古
三タカハマ
 竹窓 菴
 たき井筒 焚ゆさもぐさ 細工せら

吹く木の葉 舞ひほぞ 赤ませら
コキタ
 美 三 条
 根元の石 をいふえつと習いせぬ
コキタ
 花 遊
 春トひるる鈴 休業のさる二軒ある
ニヨカサキ
 梅 雨
 月んの玉 風入りのエイ 燦らぶ
ニヨ
 野 亭
 秋葉も垣 けいそくおめさ 柄杓さ
美コウカ
 猫 関
 骨をくさ治男 みまけ ぎきて 葉いしぬ
美コウカ
 哥 關
 三日 月 花 散 だらん ころり
三天王
 天 水
 物もあるいぢ 花かざらて 赤いね
美大ガキ
 松 天
 蒼しと茶 交いする 池志 池をぐる
チタ
 一 瓢
 天丸わが 養育して ぬく 赤か
ニ
 里 樂

烟中のま 蛇とせり 金糸靴なく
 小 實
 陰月の鼻 祢らむいそく 返りせらる
 紫 石
 ちりく 蛙 歌よおさぬる子ガもやぐ
 ハ七木
 澄 蛇の目 自かよぬけるあやめきる
 花 泉
 三妻連 光 鹿 月 月
 けやた柱 上下せらる外へ遊 下ある
 玉 鹿 月 月
 半の糖 涼しくいそくきつるかく
 自 夕 夕
 梯のむ 竿うける縄きねる
 花 水 夕 夕
 うまある 唄 料瓦志向く 壺あり
 久 花 夕 夕
 雪 水 夕 夕

眼を志す 幼れきく 寝 洗
 俊 壽
 逆子ぬる雷 さつろくともい 籠や
 齊 元
 びぐは橋 板張る平 つかはる
 桂
 ぶがぬる入 帳 けら 居や 寝
 文 津
 きむけむきこ エイ娘さんガトウよある
 猫
 知くがさ ありく 茶の芽つる
 流 螢
 坊まのやう のまやとらんせらる 寐きつる
 東 月 連
 きとめる口 ぬれくお流のとききふふ
 野 亭
 繩のよま ぶらする 拵ぐ 壺よぶす
 玉 里

遠くをきか
 がきもあざり
 玉子の芭
 上から香る香
 蝸牛
 ゆきほけ額
 くらつと虫
 考も末伯父
 まつとも垣衣
 もろく物

つらやばる
 お髪もろく
 けりけり香もろく
 指もろくの
 すろくと物移
 居合をくく
 蔓履もろく
 おもろく
 園桂水の
 稽免もろく

三谷 紫因
 全 有芳
 不乱子
 大垣 亀
 盲 猫
 大 笑
 錦 水
 新 川

白魚の
 寺次持肉
 浪
 むつと
 吹さじ
 一ト
 一ト
 一ト
 一ト
 一ト
 一ト

のさ
 天上
 研
 吹
 去
 ひ
 禁
 は

三谷 紫川
 胡蝶
 柳葉
 露 三
 久 雪
 如 水
 花 三
 千 流
 桂

六十一

吟松ふ紅梅 水けらの夜あらしい ニツ、ニ 口ハ
 久きあふ海 怖おそづつどぎよ馬をぐぐる 美竹がハナ 盲 山チ 花 春 亀
 せしみ お桂ヒツ一ヒツ覧らんくけりてある 来 山
 のと車は海 糸りや海でも糸いとぶらぶら 来 山
 風ざらやま 馬上の底ソコ一ヒツ燻くもぶらぶら 来 山
 さらしやのけ ちびはきめぬ美らんせら 一 齋
 薫かぶらぶら 籠かごのおぶら 籠かごうごく チタ連 錦 水
 糸のまきぬ親 折れくふゆびの爪ツメんも ハグロ 羽 柳 水
 流ながぶのかみ 新あたらせの焼ヤキの基もと盤ばんある 里 竹 柳 水
 紅梅はなを 節ふしめつゝある筒つつまきい 下 樂

百日紅 まつり根ねう海うみんえら ハグロ 羽 柳
 柳やなぎの枝えだ 七しち火ひの基もと盤ばんある チタ連 錦 水
 挿さしきの松まつ梅うめ 髪かみさしぬのくせあは チクヨコスカ 万 悦 水
 画え入いれのみん ちびらつてんてんくしくし似に似に 三天王 天 水
 ふるふる屋やを 市いちでかりくく梅うめあある 美大 天 水
 くしみの枝 暮くれままを指さしし コギタ 花 遊 人 水
 柳やなぎの枝えだ 目めのりりの基もと盤ばんある 三ノ 大 垣 遊 人 水
 入いれのみん 八はち重じゆう切きりてて立たちち早はやい シラハニ 竹 馬 垣 遊 人 水
 まるまる牡丹ぼたん條じょう 片かたくくるるとと豆まめ茶ちやゆゆく ニハイサカ 里 巴 凌 馬 垣 遊 人 水
 花はなの枝えだ 只ただねねううててけけままぬ 三ノ 大 垣 遊 人 水

秋茅吹くは 雅い素淡きまろくも
 口紅のすな成 史ひよあのお出づるま月
 あつしき身 せつまの虫よ灯ぐらむ
 一ばいのゆに さいせり宿出そ朱も
 志まき好状 衣櫛の櫛香ぶけり
 こんが髪 けりも埋やはいれぬ
 なるまは形 室く新おはこりぬ
 新しむ桂臺 アーしや侍お川いぬ
 丸あきの風呂 多あれりや糍結ひをり
 泊のまい晩 どぞあせおひざりと砂

三ツハチ 猫
 美大ガキ 花
 セト 玉
 ガクデン 哥
 タテ 山
 三ツカサキ 山
 梅 齋
 雨 水
 友 田
 里 宿
 枝 葉

楓の花 丸あつらゝ湯気がま月
 よきゆと悪之 切りよまき、残りく
 摺のきり法 紐のよきまきまき
 松いけり ちが髪けりつげき
 刈道ふ 度巻おつる無さぐら
 細帯の帆 二本上り書さやま
 二舟はる瓢 瑞くもえらんご火縄
 鉄炮神 摺ごまよきく万年
 三つ折味線 ちぎ糍よちぎま金
 ちぎ子隠状 上布ちぎまのちぎ

美タカス 班
 三妻川連 鹿
 三三谷 紫
 セト 新
 美大カキ 玉
 三水魚連 花
 美大ガキ 名
 フタゴ 魚
 巴 貴
 水 遊
 鮫 水
 酔 水
 宿 水
 里 水
 川 水
 因 水
 月 水
 鹿 水

野菊の花
 仕方のまいね
 まささじ
 かやくシヨクガキ
 石路の心
 考カウ
 こほみ集
 飽アホまマまマ妻セリ
 機キのノ日ヒ後ゴ
 媛ニキやヤるル基キ示シ

さらしてふも秋すもやう子
 後ハラ節ノとトてテちチぎギうウうウ
 くらク接ツグふフもモくク幸コトんンもモ
 ちチぎギうウうウうウうウうウ
 角カクはハ淋シ合ゲ毛モはハさサめメらラ
 小コやヤりリてテあアとト撒サけケらラ
 汲クらラ心シンをヲのノ泡ウがガやヤらラ
 志シあアらラ青アヲやヤらラつツつツつツつツ
 おオ除サリはハあアげゲらラ後サトがガゆユらラ
 おオんンまマのノ心シンくク笛フエうウまマいイ

壽タラガ 虎ノ 白ハク 里コシノ 梅ウメ 竹タケ 花ハナ 里リ 只シ 川カハ 鯉コイ 里リ 大オホ 宿ヤド 馬ウマ 津ツ 松マツ 利リ 風カゼ 盛セキ
 月ツキ 小コ 梅ウメ 水ミヅ 魚イサナ 園エン 花ハナ 牧カシ

小あられ
 はぬい草
 ぎギいイふフ振ヒ
 さサらラくク親カネ
 あアさサきキ
 おオよヨむムおオのノおオのノおオ
 なナきキおオのノおオ
 國クニのノたタをヲ
 提ヒキのノ一ヒトんン衣イ
 掛カケるル地チ

のノさサ守モリ兜カブトにニ遊ユもモをヲびビらラ
 眉マユおオまマつツけケらラ鏡カガミ出デしシ
 築キのノ仕シりリくク川カハんンるル
 あアげゲをヲのノさサらラ後ゴよヨあアらラ
 志シをヲくク休ユス年トシ通トるル
 救ユクでテまマむムさサらラをヲたタんンをヲ
 痛イタぶブるル接ツグてテ心シンりリ鳴ナらラ
 ちチぎギうウうウうウうウうウ
 小コやヤりリてテあアとト撒サけケらラ
 小コやヤりリてテあアとト撒サけケらラ
 おオんンまマのノ心シンくク笛フエうウまマいイ

月ツキ 小コ 梅ウメ 水ミヅ 魚イサナ 園エン 花ハナ 牧カシ
 越コシノ 巴ウツ 蝶テフ 津ツ 柳ヤナギ 花ハナ 王オウ 玉タマ 風カゼ 来キ 川カハ 旭アサキ 海ウミ 亭テイ

松極の糸

カハラ 瓦げねえ 蛭切川

三妻川連 史山

おさひの

オカミ 繁葉入るきふるさ

ウタス

リ

クヒ 松たきび木かつと

大塚

おえん

チタヨコスカ けさうそ 佐藤は合つと

万悦

ちり

クラゲ 海月のる 網ふり

梅花

道徳ふる

シウシニ 子ぐよ 獲心さうらう

梅津

己刻でうら

エダカバズ ちぎ枝 枝をさきさぬ

里松

おんらんが

イリ あげてみる 木かぶり合ふ

小梅

美の

ヒノキカ 松木のする 枝長い

美中ノ郷

楓

キダ ちぎり けさうそ 夫げらぬ

貴友

ゆせみ

ホト 濃葉の 幕けとある

アツタ 山歌

かきね

オウ ありみ 下うぎう

三東カヒ 梅花

まづ

ヒキ 穂よ 銀香の 美がとく

ヒツタケ 花風

流れ

オキ 七火 げら押はるりたむ

一 齋

なく

ヤ 中むや ぐるそ ねつる

美市シダ 遊

ま

オキ ゆびの ちる毛 エ口 長い

三カリヤ 花

故の

オキ 重場よ かる 後ちり

カン 壽春

ち

オキ ちり せ 河 ちり

タラガ 池水

い

ボウ 一ちり かり 坊いめん

タラガ 山鷺

け

トビ 出りや 長し ちり 寐せる

タラガ 花瓶

翫^キの船 車^{クルマ}ま^まつ^つ水^{ミヅ}ひ^ひく^く
 下^{シタ}のき^キや^ヤる 店^{テン}ま^まく^くじ^じく^く石^{イシ}花^{ハナ}も^もま^まい^い
 り^リて^テ花^{ハナ}の^ノ影^{カゲ} 辰^{ツクシ}づ^づつ^つき^キの^ノ影^{カゲ} 里^{サト} 泉^{イハ}
 あ^アこ^コし^シ極^{キョク} ず^ズいて^{イテ}晝^{ヒル}後^{ノチ}く^くさ^さら^らり^り
 祓^{ハラヘ}こ^コの^ノ衣^イ 篋^{カネ}で^デ枚^ヘ子^シの^ノ板^{イタ}お^おし^しん^ん
 唇^{クサビ}の^ノま^まみ 信^{シロ}す^すり^り小^コの^ノ首^{ウデ}毛^モの^ノぞ^ぞく^く
 き^キり^りぐ^ぐす^す 故^{コト}ま^まい^いれ^れ歯^ハの^ノ糸^{イト}さ^さり^りる^る
 ナ^ナが^ガい^い髪^{カミ} か^かし^しり^りつ^つた^たい^いま^まげ^げを^をん^ん
 大^{オホ}き^キぶ^ぶる^る 及^{およ}く^くあ^あげ^げる^る 苗^{スエ}ま^まい^い
 ら^らみ^みよ^よる^る水^{ミヅ} 油^{アブラ}を^を撰^{ヒラ}ぎ^ぎる^る 心^{ココロ}も^も人^{ヒト}よ^よぶ^ぶ
 美^ミフク^ク一^{イチ}色^{シキ} 山^{ヤマ}サ^サキ^キ 里^{サト} 泉^{イハ} 花^{ハナ} 流^{リウ}
 平^{ヘイ} 一^{イチ}味^ミ齋^{サイ} 梅^{ウメ} 花^{ハナ} 居^イ
 美^ミノ^ノ五^ゴ反^{ハン}郷^{キョウ} 竹^{タケ} 溪^{セキ}
 上^{ウヘ}ス^スエ^エ 見^ミ 習^{シユ} 風^{フウ} 居^イ

笑^{ウツクシ}う^うる^る梅^{ウメ}
 春^{ハル} 熱^{アツク} 魚^{イサ}
 玄^{ゲン} 宅^{タク} さ^さ
 と^とぶ^ぶく^くる^る
 な^なが^が出^デる^る足^{アシ}
 日^ヒの^ノ丸^{マル}や^やる^る風^{フウ}
 ひ^ひよ^よき^きい^い花^{ハナ}
 よ^よめ^める^る水^{ミヅ}葉^{エバ}子^コ
 お^おろ^ろい^い味^ミ
 又^{また}あ^あら^らい^いで^でく^くま^まり^りさ^さり^り
 核^{クワ}な^なら^らい^いま^まの^ノ痘^ウ見^ミる^る
 金^{カネ}子^コま^まぶ^ぶ体^{タテ}う^うく^く破^ヤる^る
 よ^よい^いや^やつ^つま^まい^いと^と靴^{カブ}見^ミる^る
 町^{チヨウ}や^やま^まい^い小^コ川^{カハ}を^をつ^つら^らる^る
 夏^{ナツ}の^ノ産^{ウツ}麻^マ や^やめ^めく^くる^る
 つ^つぎ^ギ場^バま^まら^らつ^つて^て少^{シヤウ}壺^{ウゴ}さ^さる^る
 や^やわ^わら^らい^いの^ノお^おの^の救^{カス}が^がい^いく^く
 毎^{マエ}よ^よか^かぎ^ギる^る糸^{イト}も^もい^いる^る
 ろ^ろづ^づら^らい^いの^ノま^まい^い味^ミ
 ナ^ナガ^ガイ^イ味^ミ
 美^ミフク^ク一^{イチ}色^{シキ} 山^{ヤマ}サ^サキ^キ 里^{サト} 泉^{イハ} 花^{ハナ} 流^{リウ}
 平^{ヘイ} 一^{イチ}味^ミ齋^{サイ} 梅^{ウメ} 花^{ハナ} 居^イ
 美^ミノ^ノ五^ゴ反^{ハン}郷^{キョウ} 竹^{タケ} 溪^{セキ}
 上^{ウヘ}ス^スエ^エ 見^ミ 習^{シユ} 風^{フウ} 居^イ

つらつらひる魚	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
やうやういふ鼻	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
きのえねの洗	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
紋つきの馬	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
川ですく輝	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
目でやまのうら	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
つしじのうら	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
かんえん白髪	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
新しきのうら	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
はづる宿海	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ

あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ
あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ	あまのこ

冬の月	信よ吹さるのころ	史山
あまのこ	あまのこ	あまのこ
月すし	祥二挺でち俵振	竹溪
はづる宿海	はづる宿海	其峰
炭柱の石葛	ひがしを流る川	ト梅
かりかき	ゆきまき	梅声
芙蓉の花	河戸つち	水泉堂
男伊達	美切れる	紫山
あまのこ	あまのこ	常足
産物	あまのこ	千宝

りずの声　　くんとぞ今も命　　つら　　三チリウ
 笑ふくらみ　　宙で出ろ　　と　　毎も　　タラガ　　妻川連
 ぐいあんど　　楸の長　　の　　古　　桂　　ツツミ　　花　　壽
 海　　世　　あり　　く　　梅　　が　　た　　花　　トリ井ツ
 つの葉の風　　ま　　け　　て　　あ　　る　　夕　　モ　　み　　二　　扇
 空のく　　あ　　い　　ひ　　ろ　　ろ　　お　　こ　　も　　心　　肩　　い　　ふ　　無　　美大カキ
 おちよ　　よ　　か　　き　　白　　糸　　で　　髪　　か　　げ　　け　　と　　る　　梅　　栗
 は　　戸　　糸　　の　　ヒ　　降　　る　　新　　羽　　で　　も　　色　　ん　　ど　　る　　栗　　タラガ
 お　　心　　の　　ま　　ま　　一　　下　　口　　弁　　い　　い　　さ　　ゆ　　り　　と　　る　　船　　イナバ
 ま　　ま　　り　　さ　　し　　ユ　　ヅ　　で　　あ　　づ　　ま　　い　　ま　　あ　　ら　　ん　　と　　る　　千　　宝

袖　　あ　　い　　思　　葉　　が　　ま　　れ　　ら　　い　　糸　　ま　　う　　と　　三ツハカチキ
 小　　は　　ま　　り　　庭　　下　　の　　ふ　　ぎ　　か　　け　　ぬ　　け　　ら　　青山　　素
 細　　の　　や　　ま　　お　　ほ　　ま　　い　　か　　ざ　　ら　　と　　る　　只　　ニニ川
 袂　　の　　お　　灯　　ま　　つ　　お　　つ　　と　　る　　娘　　よ　　あ　　ま　　い　　カタハラ一色
 桔　　枝　　の　　花　　矢　　つ　　ぎ　　の　　け　　い　　こ　　糸　　い　　を　　い　　六ヶヤ
 ち　　ま　　ん　　ま　　り　　心　　和　　さん　　の　　ユ　　リ　　ま　　り　　と　　る　　一　　妻川連
 タ　　ー　　ぐ　　れ　　二　　糸　　け　　ら　　と　　る　　四　　が　　あ　　る　　大ツカ
 ひ　　す　　ぶ　　羽　　織　　ひ　　も　　振　　り　　の　　ひ　　も　　糸　　も　　あ　　ま　　い　　タラガ
 昨　　々　　と　　思　　は　　れ　　法　　花　　経　　ら　　す　　す　　肩　　が　　た　　ら　　る　　美イマラ
 は　　く　　の　　ま　　衣　　ニ　　ツ　　タ　　ラ　　一　　ツ　　お　　い　　え　　と　　る　　二　　湖
 扇　　邊　　寫　　大　　ツ　　カ　　翠　　亭　　火　　琴　　川　　九

ニニ川

ぐんあま 燦のけらぬ戸櫃ぐもる
 天のつらぬ味 柳花
 神のつらぬ 紐のこもどけく矢立 柳花
 鏡花月 うせ切刃やせくみるきく
 三上 矢の根おのくさささうす
 うなぎ飯 浮せぬげのこもんごある
 空きくゆし 為づるしとるイサバのり
 ささげの浅 出らぬぬぐえ 柳花
 神 你もよきい灰たまる
 老あけの帆 水とまきくさ髪いもる
 竹 壽 松 春 花 夕 柳 樂 万 梅
 子 盛 甫 山 三 花 遊 悦 里

いびる 井上 虎 風
 びくゆれ 梅 梢
 うすぐい 栄 王
 石知の竹 後 流 流
 足さる田 中 山
 足出の白 若いの入る 別 郷
 名もよき 帆あし 志あし 心あし 下 筈
 三みせん 杖 かけの巻 酒みせん 陰
 時をもよひ かくささく 美人 幸
 鳥さき 岸 成

おとく 水 駒の毛色ニ葉はけらむ 美ノ 夕タテ石ニ
 ひろく 額 ヒタヒ 花 化又はやありする タテ石 花 生
 すいのふらひ 徳合セきるるまむさむ 中ノルツチ 都 月
 衿へき花枝 碧候の候うけ後す ムクヒ 水 泉 堂
 昔もくち 城あらしうい古まうい 一味 齋
 ろすのまひ ホウイ 鴻 齋
 ひろつくれん 目まきく写介やまんどう ニカリヤ 壽 春
 とびつり 美ハヒロ 文 遊
 さつま巻 セト 山 歌
 信たらし 後 松ふまする日が近い 玉 里

おのの声 一ト羊みダ洲よさりの ニチツク 妻川 連
 よんそ 指畫 コロけえうて 穂りたひ ウチ 貴 友
 けがる痛ゆ ちごあうらる トウニヤウ 穂 けす シゲキ 芝 角
 歩よのう 美人 そくくくく 信ひよる 大ノカ 斗 住
 はきき極き ハグロ 梅 士
 ままのほら けらきおんそイバラぬく ハグロ 里 竹
 出口の町 不浄どらせる 瓶 けやる ハケニヤ 常 足
 売のおけり ナガクテ 来 山
 かうらだら道 水角のふまんおあよる フナツ 十二 三
 ちやぶ 不 ちやぶあくゆでる

川 ちどり 幾^{カッ}だいまるの火^カグ^カふら
 まぬい^カち^カり かり^カ地^カよ^カま^カて^カ作^カて^カある
 角^カカ^カど^カき^カの^カ 毛^カま^カど^カりの^カフ^カン^カか^カね^カて^カある
 う^カり^カに^カ み^カつ^カけ^カい^カど^カて^カ 己^カお^カい^カん
 丸^カあ^カん^カど^カ よ^カい^カカ^カザ^カの^カす^カる^カあ^カり^カお^カね^カぐ
 た^カま^カづ^カち^カお^カ エ^カイ^カ店^カの^カ流^カよ^カニ^カり^カ出^カる
 お^カり^カあ^カい^カ方^カ ひ^カら^カき^カま^カん^カて^カお^カら^カあ^カ無^カい
 ち^カり^カく^カ 尊^カ 六^カ尺^カの^カ瓦^カす^カつ^カら^カて^カり
 ぎ^カは^カき^カい^カ久^カ ち^カい^カら^カう^カり^カる^カ相^カ地^カけ^カら^カす
 来^カ山^カ 下^カ山^カ 花^カ三^カ水^カ 紫^カ川^カ 春^カ南^カ 夕^カ三^カ

ま^カつ^カむ^カよ^カい^カ ぐ^カら^カま^カけ^カい^カひ^カ白^カお^カろ^カい
 の^カん^カぞ^カく^カく^カえ^カん^カ 妻^カ川^カ連^カ 大^カ塚^カ
 た^カき^カ火^カの^カり^カ 葱^カ突^カつ^カて^カあ^カら^カあ^カり^カく
 人^カの^カす^カく^カね^カ店^カ 蕎^カ麦^カより^カ喉^カよ^カ気^カが^カか^カる
 菊^カの^カよ^カい^カひ^カ け^カつ^カの^カ種^カだ^カけ^カ者^カし^カん
 猪^カ頭^カが^カき^カの^カ店^カ ち^カり^カま^カに^カけ^カる^カ画^カと^カこ^カの^カ心
 方^カ角^カの^カ店^カ かり^カて^カあ^カら^カあ^カり^カく^カな
 上^カ田^カの^カ細^カい^カ ち^カり^カま^カに^カけ^カる^カ画^カと^カこ^カの^カ心
 き^カえ^カい^カる^カ 虹^カ さん^カご^カの^カあ^カま^カニ^カ換^カを^カす
 が^カき^カよ^カる^カ 灯^カ 一^カト^カゆ^カで^カ花^カの^カこ^カり^カる
 花^カ瓶^カ 妻^カ川^カ連^カ 大^カ塚^カ 一^カ二^カ三^カ 里^カ夕^カ 清^カ風^カ 旭^カ海^カ亭^カ 竹^カ溪^カ 東^カ月^カ連^カ

三十七

菊々さるる 花衣よりみたる
 中つるる 結つて仁言も出ていふ
 まつりつる びけつ羽織の肩尻も
 ちやよる 一人りもろくをききき
 子の多い 古儀場の残ひろげ
 縮やくも 坊不れもぞきすむ
 かけわが 決ひんちつて 燧 走ん
 のぞく女 矢立のきりきり
 むさい ねん ねん ねん ねん
 りや ねん ねん ねん ねん
 来 山 花 村 白 秋 月 紫 園 文 津 日 之 九 有 芳 梅

お十二細 扇よりけり帯なごる
 ろけ知る 丸くもあまたうらや
 葉でくも ねん ねん ねん ねん
 ぞろろ ねん ねん ねん ねん
 畑がく ねん ねん ねん ねん
 大通り ねん ねん ねん ねん
 たよる ねん ねん ねん ねん
 條の ねん ねん ねん ねん
 旅の日 ねん ねん ねん ねん
 光の ねん ねん ねん ねん
 来 山 花 村 白 秋 月 紫 園 文 津 日 之 九 有 芳 梅

代りつ時 舞つて、舞で風志のぐ
 本陣の房 六つとまゝに飛ぶがたまに
 坂口のまら屋 斬り鬮除けつてくる
 まく影の黒い 美のまらま(上)つてくる
 子母の梅 振へやるまゝつてくる
 雲なげを 六つと吸やトあをいす
 赤いふら船 せんごよま出てらんぬ
 形でまが春中 ぼやあられく合子めれぬ
 ーくれ から別ーる 民出ん
 のあつたを ぶたーホカ七くてもぬぬ
 田舎 龍古 一配 巴凍山 千湖 布
 舎齋 蝶舎 水河 芝樂 邊滝

魚をくぐれ 蓼真の虫切りより
 人魚をくぐれ くらあつて火を沖薬けり
 あけまら灰吹 引くまらあゝあゝ目がぬぬ
 六つとぬけ 押出がまをまよ 松れ
 眼のくまお照 せんごのし書出るるぬ
 孫のまらま ちんご納豆のけらぬ
 くらべ金豆毛 ちんご納豆のけらぬ
 ひざ枕 浅州は赤門の海へぬ
 昼寝つこ ちんごの性合火のぬ
 登山 花見 正松丸都牛ト 翁
 山亭 習子 風く鹿遊梅 齋

つゝいんぐ	水鏡の馬具かきり	モロワ	牛	遊
痛ぢやせう統	いんぐよきまきり	アツタ	一	鳥
はぢいまきり	まじりかきり	クジラ	千	樂
白嵩のあやま	初くまのまじり	カヤ	初	遊
うすまきり	くまのまじり	フル	路	光
ゆののおけ	くまのまじり	ツシ	高	御堂
ねまのまじり	ねまのまじり	カラスキ	鷺	水
まげまきり	ねまのまじり	ヒラ	瀬	戸
おまきり	まじり	ヒラ	花	蝶
まきり	まじり			

おまきり	日づけ	おまきり	友	士	鳳
おまきり	流	おまきり	友	士	泉
おまきり	おまきり	おまきり	里	泉	瓢
おまきり	おまきり	おまきり	梅	壽	瓢
おまきり	おまきり	おまきり	玉	翁	瓢
おまきり	おまきり	おまきり	古	蝶	瓢
おまきり	おまきり	おまきり	千	越	瓢
おまきり	おまきり	おまきり	千	樂	瓢

夕陽の暮 カニヅ 甘柿 ハモ
 二夜更 ウチ 今更 カキ 縁巾 カキ
 日ざりの窓 カキ 飯 カキ 木天蓼 カキ けつ カキ さい カキ
 猫の川 カキ ずる カキ 越 カキ せ カキ ぐ カキ
 小 カキ づ カキ 輝 カキ いた カキ き カキ よ カキ ある カキ
 善 カキ 清 カキ ず カキ き カキ
 き カキ ー カキ つ カキ く カキ 極 カキ
 大 カキ り カキ や カキ じ カキ ぶ カキ
 あ カキ ん カキ ぐ カキ せ カキ ぎ カキ ん カキ
 明 カキ ち カキ づ カキ 子 カキ 守 カキ 好 カキ
六ヶ 花 カキ 亭 カキ
チタ 石 カキ 水 カキ
美大 二 カキ 扇 カキ 人 カキ
六ヶ 込 カキ 野 カキ
六ヶ 俊 カキ 壽 カキ
 一 カキ 味 カキ 齋 カキ
 其 カキ 峯 カキ
 千 カキ 樂 カキ
片原 尤 カキ 鳥 カキ

附 カキ 野 カキ 故 カキ
 美 カキ い カキ 荒 カキ が カキ ら カキ
 と カキ け カキ り カキ ね カキ
 つ カキ ぎ カキ る カキ お カキ ね カキ
 井 カキ 沼 カキ は カキ ま カキ ち カキ 田 カキ
 世 カキ が カキ め カキ り カキ わ カキ
 春 カキ を カキ の カキ じ カキ
 警 カキ 持 カキ じ カキ
 凡 カキ 名 カキ も カキ 一 カキ
 お カキ 花 カキ 蝶 カキ
 引 カキ 返 カキ の カキ じ カキ 縁 カキ い カキ じ カキ
 川 カキ は カキ ん カキ ぞ カキ あり カキ せ カキ ぎ カキ 亭 カキ
 名 カキ よ カキ け カキ ね カキ じ カキ
 茶 カキ 所 カキ へ カキ 来 カキ し カキ つ カキ て カキ お カキ 茶 カキ 軒 カキ
 夕 カキ 暮 カキ け カキ 燈 カキ の カキ つ カキ い カキ じ カキ
 今 カキ は カキ け カキ け カキ の カキ 子 カキ ぞ カキ 長 カキ い カキ
 花 カキ 亭 カキ
 其 カキ 峯 カキ
 九 カキ 光 カキ
 古 カキ 柳 カキ
 其 カキ 峯 カキ
 一 カキ 牛 カキ 遊 カキ
 花 カキ 蝶 カキ

湯ユまマるル 炭ツラ 火ヒををいいららんんどど竹タケががづづく
 ププチチヌヌキキとと是是 花ハナ 水ミヅ
 唐カラおおどどいいをを 一イツ 寶ホウ
 ももよよゆゆららささすす 梅ウメ 込コ 月ツキ
 物モノつつててのの 野ノ 山ヤマ 込コ 野ノ
 麻アサ 海ウミ 代ダイ 山ヤマ 込コ 野ノ
 任ニ じじいいつつ 下ゲ 品ヒン 野ノ
 梅ウメ タタココのの 史シ 山ヤマ
 小コ 小コ 人ニ 羽ウ 史シ 山ヤマ
 たたととすすいい 扇アヒ 本ホのの 尾ビ

湯ユまマるル 炭ツラ 火ヒををいいららんんどど竹タケががづづく
 柳ヤナギ 伯ハク 小コ 人ニ 羽ウ 史シ 山ヤマ
 むむららげげ 垣ケ 扇アヒ 本ホのの 尾ビ
 むむのの 名ナ 行ユキ 遠トウ 月ツキ のの げげ とと 志シ
 公コウ のの おお はは ここ ひひろろげげてて 志シ 山ヤマ 水ミヅ
 かかくく 小コ 人ニ がが ううんん 小コ 性セイ ねねららるる 其ソノ 峯ミネ
 妻ウメ 子コ 琴シン めめ 市イチ のの うう けけ ぬぬ 水ミヅ 一イツ 二ニ 三サン
 けけいい 小コ 眉メイ 福フク 小コ 時ジ やや 小コ 小コ 志シ
 湯ユ まマ りリ 鳥トリ 小コ のの いい 小コ 人ニ 花ハナ 小コ のの いい 小コ 志シ
 板イタ のの 小コ 人ニ 虫ムシ 月ツキ 小コ のの いい 小コ 志シ
 梅ウメ 士シ
 扇アヒ 壽シユ
 市イチ のの 倉クラ
 山ヤマ 水ミヅ
 其ソノ 峯ミネ
 一イツ 二ニ 三サン
 白ハク 鳥トリ
 俊シュン 壽シユ

梅ウメ此ココは

石炭セキタンをり。穴アナのそく

美大ミダイ梅ウメ芝シ

茶チャつきの京キョウゆ

切キレはてうろろが結ムスいはらぬ

多東タトウ梅ウメ里リ

せつごんの衣イ

ひりしてゆつとさらじとく

六ヶムツカ錦ニシキ出デ

椽ケラの先サキキ

ちささきちぢぢとん

六ヶムツカ常ジョウ足ソク

すしスシの焼ヤキ

んをてある肉ニクは洲スがまづむ

東トウ師シ哲テツ

曲マダテやう小コ袖スリーブ

からうろ床トコがたのうらふ

東トウ胡コ白ハク

うら友トモたか

みづー垂タラシヤタぶらけしる

イナバ

かゝるカスのノ葉ハあり

西ニシでみやげのさるカサひん

一イチの

ふらりりる

まじもの中ナカでさうぶく

タラシ 壽シユ扇セン

並ナリ場バをヲ握ニギは

うーんのノ肉ニクでゆ

日ヒ

ちやちや梅ウメ

えつとあめノ秋アキ肩カサまく

美ミ市シの倉クラ

海ウミでヲ作るニ義ニ訓ニ

結ムスつとノ稔ネの流リウちりふ

文ブン朗ロウ

一イチつ 家カ

今イマく虫ムシよふちをかろ

ナカクテ 士シ鳳ホウ

今イマまさん後ノチ

たままをよげてたまら

狂キヤウ俳ハイ堂ドウ

舟フネでヲ見ミるノ友トモ

もろいけさのくすしりま

牛ウシ遊ユ

お 髪カミさん

まくはなぶらんくまろカタ堅カタい

六ヶムツカ露ロ光クワ

つらつら虫ムシ

水ミヅでキまやしとニ薪イキはヒてる

陽ヤマタ田タ連レン

お 志シり 顔カノ

妓キをキびいららうノてヲみる

六ヶムツカ洲ス

捨ヤリのケいト場バ

火ヒをシらシでノ栗クリの穂つツぶサ

清セイ洲ス

滝タキのノぬシ

くノいノつノのノ角カドはヒとク

松マツ風カゼ

一ノ宮
 扇ハタ 壽ス
 一ハチ 連ツグ 瓢ヒヤウ 路ロ
 神カミ 尾ビ
 神カミ 尾ビ
 牛ウシ 遊ユ
 史シ 山サン
 鴻ワウ 齋サイ
 一 二 三
 一ノ宮
 扇ハタ 壽ス
 一ハチ 連ツグ 瓢ヒヤウ 路ロ
 神カミ 尾ビ
 牛ウシ 遊ユ
 史シ 山サン
 鴻ワウ 齋サイ
 一 二 三

花ハナ 船フネ
 瀬セ 戸ド
 狂キヤウ 俳ハイ 堂ドウ
 初ハツ 遊ユ
 旭アサヒ 山サン
 一ハチ 紫ムラサキ 川カハ
 梅ウメ 梢サカサキ
 一ハチ 宮ミヤ
 花ハナ 瓶ビン
 瀬セ 戸ド
 狂キヤウ 俳ハイ 堂ドウ
 初ハツ 遊ユ
 旭アサヒ 山サン
 一ハチ 紫ムラサキ 川カハ
 梅ウメ 梢サカサキ
 一ハチ 宮ミヤ
 花ハナ 瓶ビン

三よりの地 芽吹くそごつとをりてとる ヤサシ 哥久三
 不ぞるきり 切れ金糸くぬま地つよい ハケニヤ 花亭
 赤おとせる巨達 赤をばなぐつて口かきく チカ不浦達 梅雪
 赤まのしり 中しんはほねが 三ツ、ミ 春賈
 河まじり さらさら イシキ 丸鳥
 羽新もよほ つかさせり 赤ん イナバ 光月
 よびねる マコ かり イ 美入
 吹け マコ け イ 巴水
 下 イ 旭山

狂侘おしお紀集

初篇より八篇迄出板

書林

菱屋久八郎
 美濃屋伊六

張
玉
卷
之
一

四
卷